

特55

評言手引

吉爾基太郎編輯

緒言

凡ソ人民自己ノ權利ヲ全フシ義務ヲ盡スノ方皆法令例規ニ由ラサル  
ハナシ然面シ其法令ノ夥キ例規ノ多キ苟モ云テ纂集シ以テ冊子ヲナ  
スニ非レハ一々之ヲ請記スル實ニ難シ故ニ世上播布スル所ノ民事及  
ビ訴訟ニ關スルノ編冊抄トセズ然ト雖モ或ハ書冊浩濶ニシテ管便  
ナラス或ハ類ヲ別テ部ヲ設ケサルヨリ搜索ニ苦シム等ノ憂ナキチ免  
レヌ余頃者太政官布告達及司法省達等ノ民事及ヒ訴訟ニ關スル者ヲ

類纂シ一小冊子ヲ輯ス素ヨリ管便ヲ專トシ且ツ搜索ニ容易ナラシメ  
ンコテ欲スルカ爲メ唯々其要旨ヲ抽キ綱領ヲ舉ケ以テ世人事物ニ應  
ジ之カ標準トナスノ一端ニ借ス其詳悉ノ如キハ此小冊子ノ能ク盡ス  
所ニアラス看官若シ此書ニ就キ以テ万一ニ得ル所アラハ幸莫大焉

凡例

一此書明治五年ニ起リ同十二年三月ニ至ル發令ノ大概ヲ舉ケ其年月ニ  
從ヒ順次之ヲ記列スト雖モ固ヨリ粗漏魯魚ノ誤ナキチ保シ難シ看

官請フ之ヲ恕セヨ

一書中某裁判所或ハ某府縣ニ指令トアルハ却テ該府縣ノ何ニ付キ可  
法省指令ヲ知スルモノ也又間ニ何号指令トアルハ司法省指令録民  
事部ノ記号ナリ看官之ヲ諒セヨ

訴訟手引

吉富基太郎 編集

○訴訟要則

明治六年司法省第六十九号達

郵便ニテ進送ノ訴狀書類ハ燒給ル

全年二百四十七号公布

民事訴訟ハ訴答文例並ニ附録ニ照シ被告人管内ノ裁判所ニ訴フヘシ

八年司法省甲五号及甲十号達

各人民ヨリ院省府縣等ニ對スル訴訟ハ各上等裁判所ニ開拓使ニ對  
スル訴訟ハ東京上等裁判所ニ訴出ラヘシ

全年百三号公布

訴訟手引

吉富基太郎 編集

○訴訟要則

明治六年司法省第六十九号達

郵便ニテ進送ノ訴狀書類ハ燒給ル

全年二百四十七号公布

民事訴訟ハ訴答文例並ニ附録ニ照シ被告人管内ノ裁判所へ訴フヘシ

八年司法省甲五号及甲十号達

各人民ヨリ院省府縣等へ對スル訴訟ハ各上等裁判所へ開拓使ニ對スル訴訟ハ東京上等裁判所へ訴出フヘシ

全年百三三号公布

裁判言渡書又ハ隨事伺指令ハ將來一級ノ定規トスルヲ得ス

全年司法省二十号達

白洲取調ノ節裁判官ノ煙草ヲ禁ス

全年五月新瀉裁判所へ指令

被告人未決囚ナルルハ民法上直ニ本人呼出吟味シテ義務ヲ懈ルルハ相違ナケレハ家族ヲ呼出シ果サシム又ハ囚人原告トナルルハ家事向引受ノ者代人トナリ出訴スヘシ若シ朋友等へ依頼ノ義囚人ヨリ願へハ呼出シ囚人ニ磨對サセ出訴ノ順序ヲ違ハスヘシ

全年十月滋賀縣へ指令

姪ヨリ伯叔ニ被詐取旨ノ吟味願ヲナスニ無證據ノ爲メ採用セスル

千名犯義ヲ以テ細スルニ非ス

全年十月東京裁判所へ指令

商事ニ係リ急ヲ要スル外ハ必ラス七日間熟考ノ上控訴スヘキ

全年十二月熊谷裁判所へ指令

區裁判所權内ノ扣訴上告ハ本廳ヲ經ス直チニ上等裁判所大審院へ出ツヘシ

九年司法省五号達

人民ヨリ院省使府縣ニ對スル訴訟ハ總テ司法省ニ伺出ノ上々等裁判所ニ於テ受理スヘシ

十年十九号公布

地方裁判所ノ裁判ニ不服ナルルハ裁判言渡ヨリ九十日内ニ上等裁判所へ扣訴スヘシ

全年十九号公布

上等裁判所ノ裁判法律ニ不適當トナルルハ裁判言渡ヨリ二ヶ月内

ニ上告狀正本發附副本五冊ヲ作リ金拾圓ヲ添ヘテ大審院ニ捧ケ原裁判ノ破毀ヲ請フ

全年司法省丁廿七号達

訴答文例ハ書式ヲ示スモノナリ同例十四條廿八條廿九條ヲ除キ證據ノ端緒アレハ憑據ト認ムルナリ

區裁判所權内ノ扣訴上告ハ本廳ヲ經テ直チニ上等裁判所大審院へ出ツヘシ

九年司法省五号達

八民ヨリ院省使府縣ニ對スル訴訟ハ總テ司法省ニ伺出ノ上々等裁判所ニ於テ受理スヘシ

十年十九号公布

地方裁判所ノ裁判ニ不服ナル者ハ裁判言渡ヨリ九十日内ニ上等裁判所へ扣訴スヘシ

全年十九号公布

上等裁判所ノ裁判法律ニ不適當ナル者ハ裁判言渡ヨリ二ヶ月内

ニ上告狀正本登附副本五冊ヲ作リ金拾圓ヲ添ヘテ大審院ニ捧ケ原裁判ノ破毀ヲ請フ

全年司法省丁廿七号達

訴答文例ハ書式ヲ示スモノナリ同例十四條廿八條廿九條ヲ除キ証據ノ端緒アレハ憑據ト認ムルナリ

全年司法省廿九号達

目安ヲ糺シ被告ノ答弁ヲ待タズ直チニ受理不受理ヲ判決スルコト

五

廢スルコト

全年四十九号公布

民事刑事上告裁判ヲ經ルル司法卿其裁判允當ナラスト思量スル者ハ檢事ヲシテ再審ヲ求メシムルヲ得ヘシ

全年司法省丁八十二号達

民事裁判言渡ノ當日原被告引合人等出頭セサル者ハ欠席裁判言渡書ヲ遞送シ裁判ヲナス尤口書調印等モ濟ミタル者但無届不參スル

ハ規則ノ通處分ス

全年十月高知縣へ御指令

地方廳ノ指令ヲ不當ト認メ裁判所ニ訴フル者ハ落着迄ハ指令ノ通り實施セシム

全年十一月金澤裁判所へ指令

未決囚ノ妻妾離婚ヲ訴フルニ付離縁ノ裁決セシテ不服トスル者ハ囚人扣訴スルノ權アリ

六

全年十二月高知裁判所へ指令

官國大中幣社ニ對スル民事ハ地方裁判所ノ權内ナリトス

全年十二月山梨縣へ指令

負債主遠國ニ旅行スル者ハ本管ノ裁判所ニ他管ニ寄留スルモノハ其地ノ裁判所へ訴フヘシ

全年十二月水戸裁判所へ指令

一村ノ公權ニ關スル境界論ノ如キハ村役職務上ノコトニ付小前一同

ノ委任ヲ要セス

○勸解

九年司法省甲十七号達

全年十一月金澤裁判所へ指令  
未決囚ノ妻妾離婚ヲ訴フルニ付離縁ノ裁決セシテ不服トスルハ  
囚人扣訴スルノ權アリ

全年十二月高知裁判所へ指令

官國大中幣社ニ對スル民事ハ地方裁判所ノ權内ナリトス  
全年十二月山梨縣へ指令

負債主遺國ニ旅行スルハ本管ノ裁判所ニ他管ニ寄留スルモノハ  
其地ノ裁判所へ訴フヘシ

全年十二月水戸裁判所へ指令

一村ノ公權ニ關スル境界論ノ如キハ村役職務上ノコトニ付小前一同

ノ委任ヲ要セス

### ○ 勸解

九年司法省甲十七号達

民事ノ詞訟ハ可相成丈ケ一應區裁判所ノ勸解ヲ乞フヘシ

全年司法省六十六号達

區裁判所假規則達勸解ノ要旨訴狀ヲ作ルニ及ハス本人出頭能ハサ  
ルハ代人ハ親戚又ハ定リタル雇人タル可シ

八年九月東京裁判所へ指令

勸解原告ノ中徒ニ強慢不屈自分勝手ノミ申募ルハ勸解席中ニ暫ク

留得キ勸孝致サスヘシ

九年二月敦賀縣へ指令

勸解費ハ定規ニ拘ハラサルモノニ付各自費タルヘシ

同指令

勸解ニ付テハ總テ野紙ヲ用ユルニ及ハサルコト

十年三月函館裁判所へ指令

院有使府縣等へ對スル勸解ハ上等裁判所へ訴出ツヘシ

### ○ 人事

六年二十号公布

妻妾ニ非ル婦女ニシテ分娩スル兒子ハ一切私生ヲ以テ論シ其婦  
ノ引受タルヘキニ付私通ノ男子ヲ其子ノ父トシテ訴フルヲ得ス

全年百六十二号公布

夫婦ノ際已ムヲ得サルノ事故アリテ其婦離縁ヲ請フト雖モ夫之ヲ  
肯ンセサル者婦ノ父兄弟或ハ親戚ノ内附添離縁ヲ訴フヘシ

七年七十四号公布

華士族分家ノ者ハ總テ平民籍ニ編入相成ニ付僧尼族籍編入ノ布告  
ヲ更ム

全年二月司法省へ御指令

夫家ヲ出テ二年ヲ過ニ行衛知レサルハ其妻ヨリ己レノ父兄親戚

ノ内附添離婚ヲ訴フルヲ得ヘシ

全指令

夫懲役一年以上ノ刑ニ處セラル、其妻ヨリ己レノ父兄親戚ノ

妻妾ニ非ル婦女ニシテ分娩スル兒子ハ一切私生ヲ以テ論シ其婦  
ノ引受タルヘキニ付私通ノ男子ヲ其子ノ父トシテ訴フルヲ得ス  
全年百六十二号公布

夫婦ノ際已ムヲ得サルノ事故アリテ其婦離縁ヲ請フト雖モ夫之ヲ  
肯ンセサル者婦ノ父兄弟或ハ親戚ノ内附添離縁ヲ訴フヘシ  
七年七十四号公布

華士族分家ノ者ハ總テ平民籍ニ編入相成コ付僧尼族籍編入ノ布告  
ヲ更ム

全年二月司法省へ御指令

夫家ヲ出テ二年ヲ過キ行衛知レサルハ其妻ヨリ己レノ父兄親戚

ノ内附添離縁ヲ訴フルヲ得ヘシ

全指令

夫懲役一年以上ノ刑ニ處セラル、ハ其妻ヨリ己レノ父兄親戚ノ  
内附添離縁ヲ訴フルヲ得ヘシ

全年三月高知縣へ指令

婦女子相續ノ後夫ヲ迎ヘ直ニ家督相讓ル後夫婦ノ間不熟ニテ離  
別スルハ婦女子ヨリ其財産ヲ取復スヲ訴ルヲ得ヘシ

九

全年十一月新潟縣へ指令

夫婦アリ婦ハ其家ニ生レ夫ハ他家ヨリ來ル其夫放蕩ニテ殆ント家  
産ヲ破ルヘキ場合ニ至ルハ親族協議ノ上尊屬ヨリ離縁ヲ訴ルヲ  
得ヘシ

八年二百九号公布

婚姻又ハ養子養女ノ取組若シハ其離縁假令ヒ相對熟談ノ上タリ  
双方ノ戸籍ニ登記セサル内ハ其効ナキ者ニ付必ラス届出ツヘシ

十年六十号太政官達

男女ノ戸主 其事實養子女若シハ其家名ヲ廢シ他へ入夫縁付或ハ養  
子女トナリ實家へ復籍等願出レハ地方限リ聞届不苦  
十二年

士族家督相續養子貫屬替等ノ義自今管轄廳へ願フニ及ハス戸長ニ  
届出サシムヘシ

### ○出訴期限

十

五年二百九十五号公布

藝娼妓等年季奉公人一切解放可致右ニ付テノ貸借ハ裁判ヲ受クル  
ノ効ナシ

全年三百号公布

華士族卒へ掛ル金穀貸借ハ明治二年己巳六月郡縣ノ制被仰出以前  
ノ分ハ同上

同号公布

静岡及仙臺會津其外再立ノ藩々再立前ノ貸借同上

同号公布

五年七月以後貴賤上下一般ノ人民互ニ期ヲ約シ金銀貸借ニ若シ期  
ニ及ヒ返サ、ル時期月後滿五年ニ至ル迄一度モ訴出サルモノ同上

士族家督相續養子貫屬替等ノ義自今管轄廳へ願フニ及ハス戸長ニ  
届出サシムヘシ

○出訴期限

五年二百九十五号公布

藝娼妓等年季奉公人一切解放可致右ニ付テノ貸借ハ裁判ヲ受クル  
ノ効ナシ

全年三百号公布

華士族卒へ掛ル金穀貸借ハ明治二年己巳六月郡縣ノ制被仰出以前  
ノ分ハ同上

同号公布

静岡及仙臺會津其外再立ノ藩々再立前ノ貸借同上

同号公布

五年七月以後貴賤上下一般ノ人民互ニ期ヲ約シ金銀貸借シ若シ期  
ニ及ヒ返サ、ル時期月後滿五年ニ至ル迄一度モ訴出サルモノ同上  
同号公布

前同斷五年七月前ノ貸借ニテ期日七月後ニ係リタルモ滿五年内ニ  
訴サルモノ同上

同年三百十七号公布

平民相互ノ金穀貸借慶應三丁卯十二月晦日前ノ分同上但明治元年  
正月元日後ノ分ハ及裁判ヲ

五年司法省四十一号達

華士族卒へ掛ル金穀貸借明治二年己巳六月廿六日後ノ分華士族  
ヨ平民へ係ル分タリハ裁判ニ及フ

同号

丁卯十二月晦日前預金穀ハ証文面預ケ金穀ノ名目ニテ利息有之カ  
又ハ預リ人ヨリ禮金等ヲ請ル分ハ裁判及ハス其利息禮金等請サル  
分ハ此限ニアラス

同号

元士族卒ニテ當時販農商ノ分ニテ己巳六月廿五日前ノ貸借ナレハ  
裁判セス

同号

己巳六月廿五日前ニテ神職僧侶等ニ關スル分貸借ノ節士族卒ナレ  
ハ同上

同号

華士族卒ニ掛ル明治二年六月廿六日前ノ金穀貸借ヲ新規証文ニ書  
改メタル分モ同上

同号

丁卯十二月晦日前ノ貸借ニテ動産不動産ヲ債主へ質ニ取リタル者

附清券狀ヲ債主ニ受取リアル分ハ裁判及フ

同号

華士族ノ名目貸付金及ヒ神官僧侶等當時雇士族ノ者モ己巳六月廿  
五日前ノ分ハ裁判セサルヲ

元士族卒ニテ當時販農商ノ分ニテ己巳六月廿五日前ノ貸借ナレハ  
裁判セズ

同号

己巳六月廿五日前ニテ神職僧侶等ニ關スル分貸借ノ節士族卒ナレ  
ハ同上

同号

華士族卒ニ掛ル明治二年六月廿六日前ノ金穀貸借ヲ新規証文ニ書  
改メタル分モ同上

同号

丁卯十二月晦日前ノ貸借ニテ動産不動産ヲ債主ニ質ニ取リタル者

附清券狀ヲ債主ニ受取リアル分ハ裁判及フ

同号

華士族ノ名目貸付金及ヒ神官僧侶等當時雇士族ノ者モ己巳六月廿  
五日前ノ分ハ裁判セサル

同年司法省四十四号

六年一月一日ヨリ約定期限ハ太陽曆月日ニテ定ム可シ若シ五年十  
二月二日前ニ結ヒタル約定ノ六年一月一日後ニ係ルハ陰曆月日不

十三

足分ヲ陽曆月日ニ直シ廿八日ヲ加ヘテ期ヲ定ムヘシ

六年拾号公布

金穀貸附証文ノ内返濟期限無之歟又ハ出來次第返濟可致等ノ証書  
取置モノハ裁判言渡ヨリ十二月内ノ濟方申付ル

六年二百号公布

諸道各驛附屬村ニ助郷其他驛費ニ關スル滞金丁卯十二月晦日前ノ  
分ハ裁判及ハス

同年三百六十二号公布

一學藝ノ授業料

一旅籠料

一運糞料

一飲食料

一手附金

一商人相互ノ賣掛

一職人ノ手間代金 一日雇人給料

一芝居等ノ木戸又ハサシキ錢

一男女藝者拘代金

右六ヶ月期限

十四

一醫師ノ診察及藥料

一授業ノ師ヨリ門弟ノ給與セシ飲食料

一商人ヨリ非商人ヘノ賣掛金

一壹ヶ年期限迄ノ奉公人給料

右一ヶ年期限

一期限ヲ定タル貸付米及利息

一期限ヲ定タル預金及利息

一家屋及土地ノ借賃

一証據金

一無年期ノ年金及一生涯ノ年金

一小作米金

一養育料

一敷金

一物品ノ借賃又ハ損料

一七ヶ年期限迄ノ奉公人給料

右五ヶ年期限右期限ヲ過去リ訴出サル者ハ裁判及ハス

同号

証書中無期限ノ者ハ出訴ノ日ヲ期限トシ何時ニテモ出訴苦カラス



右六ヶ月期限

- 一 醫師ノ診察及藥料
- 一 授業ノ師ヨリ門弟ノ給與セシ飲食料
- 一 商人ヨリ非商人ヘノ賣掛金
- 一 壹ヶ年期迄ノ奉公人給料
- 右一ヶ年期限

- 一 期限ヲ定タル貸付米及利息
- 一 期限ヲ定タル預金及利息
- 一 家屋及土地ノ借賃
- 一 証據金
- 一 無年期ノ年金及一生涯ノ年金
- 一 小作米金
- 一 養育料
- 一 敷金

一物品ノ借賃又ハ損料 一七ヶ年期迄ノ奉公人給料

右五ヶ年期限右期限ヲ過去リ訴出サル者ハ裁判及ハス

同号

証書中無期限ノ者ハ出訴ノ日ヲ期限トシ何時ニテモ出訴苦カラス

同号

從前ノ結約ニテ六年十二月卅一日 五年七月 期限ノ過タルハ六年十月三十一日ヲ期限ト見做ス

又從前ノ結約ニテ其期ノ七年一月一日後ニ及フハ期限ノ切レタル翌日ヨリ種類ニ從ヒ出訴ノ期限ヲ起算ス但五年三百八十三條ハ格別ナリトス

六年五十号司法省達

五年七月前ノ金穀貸借ニテ既ニ七月前期限ノ過去タルハ同七月ヨリ五ヶ年内ヲ訴ノ期限トス

六年三月新瀉縣ヘ御指令

市郡ノ公費ハ丁卯十二月晦日前ノ分取立ノ訴ハ裁判及フ

七年一月東京裁判所ヘ指令

平民相互ノ丁卯十二月晦日前ノ貸金ヲ明治元年正月以後金主ヘ質入証文ニ書收メタル分ハ裁判及フ

同年二月新瀉縣ヘ指令

小作米滞ノ訴ハ丁卯十二月晦日前ノ分ト雖モ其子孫ニマテ係リ訴ノ効アリ

同年五月島根縣ヘ指令

賣掛代金ハ丁卯十二月晦日訖ニ係ルト雖モ借主証印有之分ハ裁判及フ

同年十月石川縣ヘ指令

華士族ヘ係ル金穀貸付約定中家祿渡リ次第或ハ渡ル毎ニ返濟スル旨ノ証書ナレハ訴ノ効アリ

同年五月島根縣ヘ指令

丁卯十二月晦日前ノ賣掛金ヲ戊辰正月元日後借用証文ニ切替ル分ハ効アリ

同年十一月京都裁判所ヘ指令

藝娼妓ヲ買取シ亭主ノ外餘人ヨリ藝娼妓ニ掛ル賣掛金銀貸借等ハ解放前ノ分ト雖モ裁判及フ

八年六号公布

同年二月新瀉縣へ指令

小作米滞ノ訴ハ丁卯十二月晦日前ノ分ト雖モ其子孫ニマテ係リ訴ノ効アリ

十六

同年五月島根縣へ指令

賣掛代金ハ丁卯十二月晦日前ニ係ルト雖モ借主証印有之分ハ裁判及フ

同年十月石川縣へ指令

華士族へ係ル金穀貸付約定中家祿渡リ次第或ハ渡ル毎ニ返濟スル旨ノ証書ナレハ訴ノ効アリ

同年五月島根縣へ指令

丁卯十二月晦日前ノ賣掛金ヲ戊辰正月元日後借用証文ニ切替ル分ハ効アリ

同年十一月京都裁判所へ指令

藝娼妓ヲ買取シ亭主ノ外餘人ヨリ藝娼妓ニ掛ル賣掛金銀貸借等ハ解放前ノ分ト雖モ裁判及フ

八年六号公布

定約滿期ノ際借主失踪ニ係リ規則ニ隨ヒ裁判所ノ裏書ヲ受タル証

十七

書ハ本人見當ルカ又ハ三十六ヶ月ノ間ハ出訴期限ニ加ヘス

八年五月廣島縣へ指令期限合算ノ法

九月十二日ノ約三月十二日出訴ノ如キ間月日數ヲ合算ス

同年六月小田縣へ指令

賣代金ヲ利息附ノ証文ニ改ムル者ハ貸金同様ノ處分

九年司法省第四十四号達

勸解中期限ノ滿チタルハ不調翌日ヨリ滿三十日ハ猶豫ヲ與フ右三

十日迄ニ訴サレハ權利拋棄ト見做ス

同年三月鶴岡縣へ指令

山林田畑或ハ建家ノ賣渡代金滞ハ第二條ノ規則ニ依ル

十年廿八号横濱裁判所へ指令

慣習ノ賣掛ノ証書ナク契約ナキ者ハ各心各認シタル慣習ノ期限ヨリ六ヶ月ト心得ヘシ

十年廿八号横濱裁判所へ指令

十八

約束ノ期限返濟ナラス更ニ代金請渡ノ期限ヲ定メタル証書ヲ製シタルハ前ノ期限ヲ視ス後ノ期限ニ依リ濟方裁判ス

全年同号同所へ指令

出訴期限ヲ過ル後便宜ニ依リ証書ヲ作り更ニ弁償ノ約束シタルハ濟方申付ル

同年三月函館裁判所へ指令

本人身代限リノ後數年ヲ經テ出訴期限過去リ出訴スレハ受人へ對

スルハ無之事

同年十一月廣島裁判所へ指令

請人証人ニ係ル出訴期限ハ負債主身代分配濟ノ日ヨリ起算ス

十一年丁第九号司法省達

十年廿八号横濱裁判所へ指令

慣習ノ賣掛ノ証書ナク契約ナキ者ハ各心各認シタル慣習ノ期限ヨリ六ヶ月ト心得ヘシ

十年廿八号横濱裁判所へ指令

十八

約束ノ期限返済ナラス更ニ代金請渡ノ期限ヲ定メタル訂書ヲ製シタルハ前ノ期限ヲ視ス後ノ期限ニ依リ濟方裁判ス

全年同号同所へ指令

出訴期限ヲ過ル後便宜ニ依リ証書ヲ作り更ニ弁償ノ約束シタルハ濟方申付ル

同年三月函館裁判所へ指令

本人身代限りノ後數年ヲ經テ出訴期限過去リ出訴スレハ受人へ對

スルハ無之事

同年十一月廣島裁判所へ指令

請人証人ニ係ル出訴期限ハ負債主身代分配濟ノ日ヨリ起算ス

十一年丁第九号司法省達

裁判執行出訴期限ハ規則第三條ニ依リ五ヶ年タルヘシ

預金敷尋常貸借

五年九月鳥根縣へ指令

十九

養子ニテ其者家督中ノ貸金ハ養子離別セラルト雖モ其家名續相人ニ係リ訴フヘシ

六年第二十七号公布

壬申第三百号公布以前家祿ヲ書入レニナシ金穀ヲ貸付致シタル殘ハ家祿ヲ除キ外物品ヲ以テ濟方スヘシ

七年第二十七号公布

預金穀ハ其証書中封印ノ儘預リ置候歟或ハ預リ中融通使用ヲ爲サ

ル明文ナキ分ハ明治七年五月一日ヨリ以後ハ貸金同様ニ所分スヘシ

同年十一月愛知縣へ指令

父兄ト同居ノ子弟自分一己ニテ金銀ヲ貸付置其後死亡致シ子弟ノ跡相續人之ノ無キモノハ其父兄ヨリ負債者へ係リ訴フヘシ

八年第六十三号公布

金穀其他借用証書中借主數名連印ニテ各自分借ノ員數ヲ記載セサ

二十

ル分ハ右連印中失跡死亡シ相續人ナキ者等有之トモ借用シタル金銀其他ノ總額ヲ其連印中現在ノ者ニ係リ訴フヘシ

同年五月飾廣縣へ指令

初訴金減少濟口ストモ違約スレハ惣高請求スヘシ

九年十一月函館裁判所へ指令

戸主タル父兄ニテ子弟死ノ遺財ヲ領収スル事判然タルハ死亡者ノ負債ヲ請求サルハ非ハ受理スヘシ

同月同所指令

同居セル父母及伯叔父母一己ノ貸付金有ル後死亡スルハ遺留ノ証文ヲ以テ戸主ヨリ出訴スヘシ

十年第十二号公布

父兄同居ノ子弟自分一己ヲ金銀大貸付置其後死亡致シ子弟ノ跡相續人之レ無キモノハ其父兄ヨリ負債者へ係リ訴フヘシ  
八年第六十三号公布

金穀其他借用証書中借主數名連印ニテ各自分借ノ員數ヲ記載セサ

二十

ル分ハ右連印中失跡死亡シ相續人ナキ者等有之トモ借用タル金銀其他ノ總額ヲ其連印中現在ノ者ニ係リ訴フヘシ  
同年五月飾廣縣へ指令

初訴金減少濟口ストモ違約スレハ惣高請求スヘシ  
九年十一月函館裁判所へ指令

戸主タル父兄ニテ子弟死ノ遺財ヲ領収スル事判然タルハ死亡者ノ負債ヲ請求サル、其ハ受理スヘシ

### 同月同所指金

同居セル父母及伯叔父母一己ノ貸付金有ル後死亡タルハ遺留ノ証文ヲ以テ戸主ヨリ出訴スヘシ

十年第十二号公布

預ケ金穀封印ノ儘或ハ融通使用ヲ爲サ、ル明文アル者自今二十年以前ニ係ルモノハ裁判ニ及ハス

同年二月東京裁判所へ指令

甲ヨリ乙ニ實印ヲ貸シ乙偽証スレハ甲ヨリ償フ可キニ非ス乙ノ罪ヲ問フヘシ

廿一

同年四月金澤裁判所へ指令

無利息立替受負責掛敷金手形金等ノ証書中無期限ノ者ハ十年十二号公布日ヨリ前ハ一切裁判セス

同年六月仙臺裁判所へ指令

分借ノ証ナク甲乙連帶ノ義務アル者ハ債主甲ニ訴フレハ全部ノ濟

方申付苦シカラス

但シ甲ヨリ乙ノ喚出ヲ乞フハ此限ニ非ス

同年第五十八号司法省達

本年第十二号預金穀ノ儀封印ノ儘或ハ融通使用ヲ爲サ、ル明文無キ分ハ七年二十七号布告ニ依リ一切通常貸借同様裁判ス依テ丁卯以前ニ係ル者ハ裁判ニ及ハス

同年丁第五十九号同省達

廿二

本年十二号公布預ケ金穀訴訟ノ儀二十年ハ過去ノコニテ一時活斷ヲ以テ之レカ限界ヲ立テ者ノ達ニテ將來ノコニアラス

### 利息之部

五年六月福岡縣へ指令

証文ノ末等ニ利息ヲ書載其處ニ借主印形無之ヲ以テ之ヲ拒ムルハ規則ノ利息ヲ以テ裁判ス

六年第四十号公布

貸金銀利足ノ儀定制有之候處自今貸借双方示談ノ上利足取極メ証文へ書載セ取引セハ約定通りノ利足ヲ計算スヘシ  
同年第九十二号公布

金穀貸附ノ証書中相當ノ利息又ハ利息トノ記載致シ候分ハ一ケ

本年第十二号預金穀ノ儀封印ノ儘或ハ融通使用ヲ爲サ、ル明文無キ分ハ七年二十七号布告ニ依リ一切通常貸借同様裁判ス依テ丁卯以前ニ係ル者ハ裁判ニ及ハス

同年丁第五十九号同省達

本年十二号公布預ケ金穀訴訟ノ儀<sup>二十</sup>年ハ過去ノ<sup>一</sup>ニテ一時活斷ヲ以テ之レカ限界ヲ立テ<sup>シ</sup>者ノ達ニテ將來ノ<sup>一</sup>ニアラス

### 利息之部

五年六月福岡縣へ指令

証文ノ末等ニ利息ヲ書載其處ニ借主印形無之ヲ以テ之ヲ拒ムルハ規則ノ利息ヲ以テ裁判ス

六年第四十号公布

貸金銀利足ノ儀定制有之候處自今貸借双方示談ノ上利足取極メ証文へ書載セ取引セハ約定通りノ利足ヲ計算スヘシ

同年第九十二号公布

金穀貸附ノ証書中相當ノ利息又ハ利息トノミ記載致シ候分ハ一ケ年利息元金高百分ノ六タルヘシ

同年第三十八号司法省達

利息ハ裁判決定迄ノ計算致ス可キ事

同年第四十三号同省達

- 一預ケ金穀 一賣掛代金 一諸職人手間代 一地代 一店賃
- 一立替金穀 一証據金 一敷金 一受負金 一手附金
- 一小作金穀 一村入用割合金穀 一雇人給金 一飯料 一諸品ノ損料
- 一無利足貸金穀

右可相渡期限ニ臨ミ渡シ方延滞致シ候節ハ其期限ノ日且期限ナクシテ入用次第可相渡ノ約ヲナシタルトキハ掛合候日ヨリ利息ヲ生スヘシ

スヘシ

但利息ヲ請求シ負債者承諾セサルキニ限ル双方示談整フハ此例ニ非ス  
七年第二十二号  
司法省達

抑義務者ノ爲ニスル恩惠ノ契約ナレハ利息ヲ生セス  
十年十月東京上等裁判所へ指令ノ意

同年第七十四号司法省達

金穀貸借利息計算ノ儀貸借ノ金穀返済ノ日又ハ身代限配當金處分

濟迄利息ヲ計算スヘシ

七年十一月佐賀裁判所へ指令

手附金ヲ以テ物品賣買約定書ニ違約者ヨリ手附金損失又ハ倍返ノ契約ヲナスハ証書面通濟方ス可シ

九年第三百三十号公布

人民ヨリ各區町内土木起功ニ付金穀ヲ貸與ルルハ正副戸長並ニ區内總代二名宛六分以上ノ連印又町村内不動産所有ノ者六分以上ノ

連印ヲ要ス此手續ヲナスルハ其區内町村内ノ公借トス

同上

一區内一町村共有ノ地所建物等ヲ賣買スル時ハ區戸長總代不動産

所ノ指  
令ノ意

同年第七十四号司法省達

金穀貸借利息計算ノ儀貸借ノ金穀返済ノ日又ハ身代限配當金處分

廿四

濟迄利息ヲ計算スヘシ

七年十一月佐賀裁判所ヘ指令

手附金ヲ以テ物品賣買約定書ニ違約者ヨリ手附金損失又ハ倍返ノ  
契約ヲナスハ証書面通濟方可シ

九年第三百十号公布

人民ヨリ各區町内土木起功ニ付金穀ヲ貸與ルルハ正副戸長並ニ區  
内總代二名宛六分以上ノ連印又町村内不動産所有ノ者六分以上ノ

連印ヲ要ス此手續ヲナスルハ其區内町村内ノ公借トス

同上

一區内一町村共有ノ地所建物等ヲ賣買スル時ハ區戸長總代不動産  
所有ノ連印ヲ要スヘシ唯正副區戸長ノ印ノミヲ鈴シ其須要ノ連印  
ヲキルハ共有地所建物ヲ賣買シタル効ナシ

十年第六十六号公布利足制限法

契約上ノ利足ハ元金百圓以下二割百圓以上千圓以下一割五分千圓

廿五

以上一割二分法律上ハ元金ノ多少ニ拘ハラヌ六分

同年第廿八号神奈川縣ヘ指令

有期無期ニ拘ラヌ利足ノ制限ハ既往ニ及ハヌ

同上長野縣ヘ指令

利息ノ制限ヨリ超過スル証書ニ戸長與書割印不相成事

同年十月東京上等級裁判所ヘ指令

唯貸借スル事相違ナキヲ証スル迄ノ無期限契約書ノ如キ事實利息

ノ約ナキハ利息ヲ生セヌ

同年十一月廣島裁判所ヘ指令

利足ハ始終繼續スルニ付身代限ノ後身代持直シタルキハ分配後ノ

利足ヲモ訴フル權アリ

同年同月山梨縣ヘ指令

利足制限ハ金銀貸借典舖ノ利足ニ限り米穀貸借ハ該公布ノ限外ナ  
リトス

廿六

### 賣買讓渡之部

五年五十号公布

地所永代賣買ノ儀從來禁制ノ處自今四民共賣買致所持候儀差斷サ  
レ候付テハ賣買約定ハ其効アリ

同年第二十五号大藏省達

地券証ハ其地所持タルノ確証ニ付地所ニ付テノ紛議ハ總テ此地券  
証ヲ以テ所持タル証トス可シ

六年第二百五十九号公布

凡借區人ヨリ其抗業ヲ年期中讓受ル者ハ前以テ双方ヨリ鑛山寮ヘ  
願出許可ヲ請フ可シ若シ之ニ背シ者ハ其業ヲ禁止セラレ其借區ハ

政府ノ還復シ其事業ニ就キ如何ナル資金アルモ其抗山ノ關係ナキ

利足ヲモ訴フル權アリ

同年同月山梨縣へ指令

利足制限ハ金銀貸借典舖ノ利足ニ限リ米穀貸借ハ該公布ノ限外ナ  
リトス

廿六

### 賣買讓渡之部

五年五十号公布

地所永代賣買ノ儀從來禁制ノ處自今四民共賣買致所持候儀差許サ  
レ候付テハ賣買約定ハ其効アリ

同年第二十五号大藏省達

地券証ハ其地所持タルノ確証ニ付地所ニ付テノ紛議ハ總テ此地券  
証ヲ以テ所持タル証トス可シ

六年第二百五十九号公布

凡借區人ヨリ其坑業ヲ年期中讓受ル者ハ前以テ双方ヨリ鑛山寮へ  
願出許可ヲ請フ可シ若シ之ニ背ク者ハ其業ヲ禁止セラレ其借區ハ  
政府へ還復シ其事業ニ就キ如何ナル貸金アルモ其坑山ニ關係ナキ  
モノトス

八年第六十五号太政官達

官吏商賣ノ營業不相成ハ勿論ナレハ鑛山借區營業及ヒ田地ヲ所有

廿七

シ其利ヲ獲田地家屋ヲ貸シテ地代宿賃ヲ獲金銀ヲ貸シテ利ヲ獲所  
有地ヨリ生スル物産ニ制作ヲ加ヘ賣拂フ等ハ不苦事

全年五月内務省甲第八号布達

自今人民便利ノヲメ耕地宅地山林等總テ畝歩ノ多少ニ拘ハラヌ切  
歩賣買不苦

全年第百六号公布

地所賣買致シ候節代金受取ノ証文有之トモ地券申受サレバ買主ニ

於テ其地所々有ノ權無之事

全年第百四十八号公布

建物ノ買受又ハ讓受ヲ爲サント欲スル者ハ自分又ハ代人建物ノ在  
ル戸長役場ニ至リ建物書入質記載帳ヲ見合シタル上其賣渡讓渡ノ  
証文ヲ受取リ然シテ後ニ戸長役場ニ至リ又ハ副戸長ノ面前ニテ何  
大區何小區何番地ノ何番ノ建物ヲ何某ヨリ買受讓タル旨ヲ書入質  
記載帳ニ記入シ年月並ニ苗字名ヲ記シ實印ヲ押スヘシ此手數ヲ爲

廿八

シタル後ハ其建物所有ノ權アリ

全年第二十八号司法省達

舊鹿兒嶋藩士族ニ限リ特別ノ方法ヲ以テ祿券賣買差許サレ候ニ付  
賣買ヨリ起ル訴ハ約定ノ通タルヘシ

全年第六十五号大政官達

官吏不動産ヨリ生スル利益ノ外商業ヲ禁ス

但神官教導職區戸長郵便取扱人學區取締等外吏等ハ此限ニアラス

全年第百五十三号公布

生存者ノ家督相續ニ由リ及ヒ總テ贈遺ニ由テ讓受タル地所ハ地券  
書換申受サル者ハ其地所々有ノ權トシ

証文ヲ受取リ然レテ後ニ戸長役場ニ至リ又ハ副戸長ノ面前ニテ何

大區何小區何番地ノ何番ノ建物ヲ何某ヨリ買受讓タル旨ヲ書入質  
記載帳ニ記入シ年月並ニ苗字名ヲ記シ實印ヲ押スヘシ此手數ヲ爲

シタル後ハ其建物所有ノ權アリ

全年第二十八号司法省達

舊鹿兒嶋藩士族ニ限リ特別ノ方法ヲ以テ祿券賣買差許サレ候ニ付  
賣買ヨリ起ル訴ハ約定ノ通タルヘシ

全年第六十五号大政官達

官吏不動産ヨリ生スル利益ノ外商業ヲ禁ス

但神官教導職區戸長郵便取扱人學區取締等外吏等ハ此限ニアラス

全年第百五十三号公布

生存者ノ家督相續ニ由リ及ヒ總テ贈遺ニ由テ讓受タル地所ハ地券  
書換申受サル者ハ其地所々有ノ權ナシ

全上

死亡者ノ跡家督相續ニ由テ讓受タル地所ハ其讓受タル日ヨリ滿六  
ケ月ヲ過キ地券書換ヲ申受サレハ其地券一通ニ付証印稅五倍ノ科  
料金取立其地券ハ書換下渡ス可シ

全年第百九十五号公布

從來人民ニ於テ海面ヲ區畫シ捕魚採藻等ノ爲メ所有致居候者明治  
八年二月以後ハ右海面拜借願濟ノ後ニアラサレハ之ヲ所有トナス  
コトヲ得ス

九年第九十九号公布

明治九年七月六日以後ハ金穀借用証書其貸主ヨリ他人へ讓リ渡ス  
ルハ其借用主ニ証書ヲ書換シムヘシ若シ書換シメサルルハ貸主ノ

讓証文有之レ讓渡ノ効ナキニ付讓受主ヨリ借主ニ對シ証書ノ義務

ヲ請求スルノ權ナシ(公布周知後契約ヲナシタル分)

十年第二十八号公布

人民所持ノ船舶ヲ賣買セント欲スルルハ諸建物賣買讓渡規則ニ準  
據シ公証ヲ受クル等ノ手續ヲ爲ス可シ此手續爲シタル後ハ其船舶  
所有ノ權移ルヘシ

全年第六十号公布

明治八年第百四十八号布告中此手續ヲナサ、レハ賣渡讓渡ノ効ナ  
キ云々ノ條ヲ廢ス

全年丁第四十九号司法省達

地所賣買約定書ニ追テ地券書換相渡ス可キ云々記載戸長與印ノ証  
書ヲ授受スル上ハ八年第百六号公布ニ依ラス賣得ノ証尤モ著明ナ  
ル者ニ付賣主身代限羅賣ノ部中ニ入ルノ事ヲ得ス

全上

明治八年第百六号ノ通地券ノ書替ナシト賣買ノ証アル者ニ付地券  
書換ノ請求ヲナシ得ヘシ

地所受取ノ訴モ亦同シ

同上

証文ヲ受取リ然レテ後ニ戸長役場ニ至リ又ハ副戸長ノ面前ニテ何



人民所持ノ船舶ヲ賣買セント欲スルハ諸建物賣買讓渡規則ニ準  
據シ公証ヲ受クル等ノ手續ヲ爲ス可シ此手續爲シタル後ハ其船舶  
所有ノ權移ルヘシ  
全年第六十号公布

三十

明治八年第四百十八号布告中此手續ヲナサ、レハ賣渡讓渡ノ効ナ  
キ云々ノ條ヲ廢ス  
全年丁第四十九号司法省達  
地所賣買約定書ニ追テ地券書換相渡ス可キ云々記載戶長與印ノ証  
書ヲ授受スル上ハ八年第四百六号公布ニ依ラス賣得ノ証尤モ著明ナ  
ル者ニ付賣主身代限糶賣ノ部中ニ入ルノ事ヲ得ス  
全上

明治八年第四百六号ノ通地券ノ書替ナクハ賣買ノ証アル者ニ付地券  
書換ノ請求ヲナシ得ヘシ  
地所受取ノ訴モ亦同シ  
同上

証文中年限相立テ元金返濟セハ地所差戻ス可ク等ノ約定タル如キ  
大言中賣渡等ノ文アルハ無年季質地タルモノトシ六年第十八号公  
布ニ依リ取捨ス可シ  
同上

卅一

証文中年季ノ定メ有之ハ其實賣買ナレハ賣買ノ裁判ス  
同年十二月地租改正局ヘ回答  
訴訟ノ末糶賣若クハ身代限處分ノ地ト雖モ賣買ノ性質ハ通常ノ賣  
買ト異ナルナキヲ以地券書換手續ハ規則ノ通タリ  
同年六月東京裁判ヘ指令  
地所賣買ノ契約成リ代金全額ヲモ授受シタルモノ地券ハ不日書換  
ヘ可渡旨相約置クハ契約通ノ履行セシム  
十年八月京都裁判所ヘ指令

買主家屋代ノ残りヲ拂サルハ賣主請求若クハ家屋ノ取戻ヲ訴フ  
ヘシ又身代限ノ節モ他債主ニ關セス取戻ス可シ  
但買主既ニ他ヘ該家ヲ質入書シタルハ其質取主ノ權ヲ害ス可  
カラス  
十一年九月地租改正局乙第三号達

卅二

地券書換ノ裁判ヲ受クモ義務者書換手續ヲナサトルハ右裁判言  
渡書ヲ以テ書換致スヘシ尤義務者ノ地券ハ無効ノモノニ付還納セ  
シム  
右達ニ付司法省丁第三十一号達ヲ以テ義務者連署不致トモ言渡書  
ヲ以地券書換ニヘキ件アリ  
十二年第六号公布  
地所賣買讓與ノ節ハ書換ヲ要セス券狀餘白アレハ管廳ニテ裏面ヘ

確認ノ証ヲ認シ

### 抵當物之部

六年第九号公布

買主家屋代價ノ残リヲ拂サレハ賣主請求在クハ家屋ノ取戻ヲ訴フ

ヘシ又身代限ノ節モ他債主ニ關セス取戻ス可シ

但買主既ニ他ノ該家ヲ質入書シタルハ其質取主ノ權ヲ害ス可

カラス

十一年九月地租改正局乙第三号達

卅一

地券書換ノ裁判ヲ受クモ義務者書換手續ヲナサレハ右裁判言  
渡書ヲ以テ書換致スヘシ尤義務者ノ地券ハ無効ノモノニ付還納セ  
シム

右達ニ付司法省丁第三十一号達ヲ以テ義務者連署不致トモ言渡書  
ヲ以テ地券書換ユヘキ件アリ

十二年第六号公布

地所賣買讓與ノ節ハ書換ヲ要セス券狀餘白アレハ管廳ニテ裏面ニ

確認ノ証ヲ記シ

### 抵當物之部

六年第九号公布

平民相互ノ金穀貸借慶應三丁卯十二月晦日以前ニ係ルト雖モ動産  
不動産ヲ質物ニ受取有之分ハ出訴ノ權アリ

同年第十八号公布

自今地所質入又ハ書入証文ニハ必ス規則ニ從ヒ其町村戸長ノ與書

卅三

証印ヲ受クヘシ此規則ニ從ヒタル証書ナルハ負債主身代限リノ  
處分ノ節其地所ノ代價先取ノ特權アリ

同年第四十六号司法省布達

従前質地ヨリ起ル訴訟ハ証文中年季明不受戻候ハ、流地可致旨ノ  
文言ノ有無ニテ二月又ハ十年ノ内訴出レハ受戻裁判ノ處明治六  
年八月以後ハ直ニ糶賣ニ致スヘシ

同年第三百六号公布

動不動産ヲ書入レニ爲シ金穀貸借致シ右期限中書入ノ動不動産流

込又燒込ナスト雖モ貸金ハ負債主ノ身代限ニ止ルヘシ

七年第六号公布

地所質入又ハ書入証書ニ其町村戸長ノ與書証印ナキハ質入書入  
ナキ金穀貸借同様ノ處分ニ及フヘシ

全号公布

壬申二月十五日第五十号布告ヲ以テ地所賣買被差誦候上ハ質地ハ

卅四

貸借上ノ事柄ニ付翌十六日以後ノ証書ニテ質地ヨリ起ル訴ハ糶賣  
ニ致スヘシ

全年第五十二号公布

一箇所ノ地ヲ二三重ニ書入候儀ハ不相成候ヘシ若第一番ノ金主  
ニ引當ニ入置候事ヲ第二番ノ金主承知ノ上ニテ地所代價ノ余分ヲ  
見込其地所ヲ引當ニ借添致シ候儀ハ不苦尤負債主身代限處分ニ相  
成候節ハ右地所糶賣ノ代金ヲ以テ第一番ノ者ニ元利ノ金數ヲ引渡

シ其余金ヲ第二番ノ者ニ引渡シ第三番以下右ニ準スヘシ  
全号公布

質入年季中天災ニテ地所流亡等其地ノ全形ヲ失フニ至レハ地券

地所質入又ハ書入証書ニ其町村戸長ノ與書証印ナキハ質入書入  
ナキ金穀貸借同様ノ處分ニ及フヘシ  
全号公布

壬申二月十五日第五十号布告ヲ以テ地所賣買被差許候上ハ質地ハ  
賃借上ノ事柄ニ付翌十六日以後ノ証書ニテ質地ヨリ起ル訴ハ糶賣  
ニ致スヘシ

卅四

全年第五十二号公布

一箇所ノ地ヲ二重三重ニ書入候儀ハ不相成候ヘキ若第一番ノ金主  
へ引當ニ入置候事ヲ第二番ノ金主承知ノ上ニテ地所代價ノ余分ヲ  
見込其地所ヲ引當ニ借添致シ候儀ハ不苦尤負債主身代限處分ニ相  
成候節ハ右地所糶賣ノ代金ヲ以テ第一番ノ者へ元利ノ金數ヲ引渡  
シ其余金ヲ第二番ノ者へ引渡シ第三番以下右ニ準スヘシ  
全号公布

質入年季中天災ニテ地所流亡等其地ノ全形ヲ失フニ至ルハ地券  
ハ消滅スル理ニ付貸主ヨリ借主ニ對シ外地所又ハ物品ヲ代リ質ニ  
差入サセ証文書替ヲ求ムルヲ得ヘシ又池成野地成等ニ變換シ或  
ハ欠崩等ノ爲メ其地幾分ヲ失フハ變換ノ模様及ヒ殘存ノ大小ニ  
應シ規則ニ基キ地券書換願出ヘキニ付若シ其變換殘存ノ地ハ貸金

卅五

穀高ノ償ヲナスニ足ラサルト見込ムルハ貸主ヨリ借主ニ對シ外地  
所又ハ物品ヲ増質ニ差入サセ証文書替ヲ求ムルヲ得ヘシ若シ質  
入シ並ニ増質ニ差入ヘキ地所物品無之ハ身代限ニ止ル  
八年五月飾戶縣へ指令

地所ノ質入ハ三ヶ年ノ定限之レアル上ハ永年季ノ約定ハ其効アル  
ヘカラスト雖モ其証書面年季ヲ除外質入ノ規則ニ背クコトナクハ  
右永年季約定ノ質入モ三ヶ年ノ約定ト看做スニ付其質地取引ノ事  
件ニテ三年目ノ翌日ヨリ滿五年ノ内訴出レハ質地貸借相當ノ處分  
ニ及フヘシ

全上

前同斷規則ニ觸レタル証書ヲ以テ規則ノ通三ヶ年季迄ノ約定ニ改  
メ度旨三年内ニ訴出ツレハ裁判ニ及フヘシ  
全年五月埼玉裁判所へ指令

卅六

金錢貸借ニ付工作使役ノ勞力ヲ以テ負債ヲ償ハセ候コアラヌ人身  
ヲ引當ニセシ分ハ引當ノ効ナキニ付尋常貸金同様ノ處分ニ及フヘ  
シ  
全年第五十三号公布

全年第百廿八号公布

金錢貸借ニ付引當物ト致候ハ賣買又ハ讓渡ニ可相成物件ニ限リ候  
ハ勿論ニ候處地方ニ依リ問々ハ人身ヲ書入致候者モ有之右ハ嚴禁  
ニ候ルモ期限ヲ定メ工作使役等ノ勞力ヲ以テ負債ヲ償ハセ候儀ハ

前同斷規則ニ觸レル証書ヲ以テ規則ノ通三ノ年季迄ノ約定ニ改

メ度旨三年内ニ訴出ツレハ裁判ニ及フヘシ  
全年五月埼玉裁判所ニ指令

金錢貸借ニ付工作使役ノ勞力ヲ以テ負債ヲ償ハセ候ニアラス人身

卅六

ヲ引當ニセシ分ハ引當ノ効ナキニ付尋常貸金同様ノ處分ニ及フヘシ

全年第五十三号公布

割印アル公正ノ証ナレハ身代限ノ節質入書入ノ地所糶賣代價ノ中  
ニテ元金ニ配當日迄ノ利息ヲ加ヘ債主訴出サルル戸長役場ニ除ク  
置クナリ

全年第百廿八号公布

金錢貸借ニ付引當物ト致候ハ賣買又ハ讓渡ニ可相成物件ニ限リ候  
ハ勿論ニ候處地方ニ依リ問々ハ人身ヲ書入致候者モ有之右ハ嚴禁  
ニ候ヘル期限ヲ定メ工作使役等ノ勞力ヲ以テ負債ヲ償ハセ候儀ハ  
苦マカラス

同年第百四十八号公布

建物他人ノ地ニアレハ地主ノ與書ヲ受サレハ書入質ノ効ナシ故ニ  
証書ヲ以テ出シ尋常ノ貸借トナル事

卅七

同号公布

八年十二月一日施行書入規則ニ從ハサル証書ハ九年五月一日以後  
ニ至リテハ尋常貸借トナス

同号公布

書入ノ地所建物燒失流亡スレハ七日内ニ戸長ニ届出ス可シ又代リ  
質ヲ取ルヲ得ヘシ之ヲ肯セサレハ未滿期ト雖モ元利共請求ヲ得ヘシ

同号公布

金穀ノ借主預リ主ヨリ建物引當ノ証文建物ノ圖面トチ建物ノ在ル  
地ヲ管轄スル戸長役場ニ差出シ戸長ノ與書割印ヲ受クルヲ公証ト  
云此公証ヲ受タル証書ヲ取置クルハ假令負債主身代限處分ニ相成  
ル建家賣拂代價ノ内ヨリ債主請取ルヘキ元利金ヲ先取スルノ特權  
アリ

全号公布

前規則施行前ニ結ヒタル約ハ九年二月廿八日迄ニ規則ニ從ヒタル

卅八

証書ニ改ム可シ若シ改メサレハ滿期ニ至ル至ラサルトニ論ナク九  
年四月三十日迄ニ現地裁判所ニ訴出ス可シ

全年六月司法省布達

地所質入書入候節結約証書面定期ニ至リ受戻サ、ル時ハ金主ニ地  
所可引渡旨記載有之期明ニ至リ地主逃亡或ハ死亡シテ示談スヘキ  
親族保証人無之共証書面地所質入書入規則第九條ノ通戸長ノ與書  
証印有之候ハ、金主ノ所有地トナルコト

全年第百九十九号公布

明治八年十二月一日ヨリ建物書入質規則施行以後建物書入質ノ借  
用証文又ハ預リ証文ニハ必ス返濟ノ期ヲ定ムヘシ若シ其期限ヲ定  
メサルルハ書入質ナキ借用預リ証文同様タルヘシ

凡建家賣拂代價ノ内ヨリ債主請取ルヘキ元利金ヲ先取スルノ特權アリ

全号公布

前規則施行前ニ結ヒタル約ハ九年二月廿八日迄ニ規則ニ從ヒタル

卅八

証書ニ改ム可シ若シ改メサレハ滿期ニ至ル至ラサルトニ論ナク九年四月三十日迄ニ現地裁判所ニ訴出ス可シ

全年六月司法省布達

地所質入書入候節結約証書面定期ニ至リ受戻サ、ル時ハ金主ニ地所可引渡旨記載有之期明ニ至リ地主逃亡或ハ死亡シテ示談スヘキ親族保証人無之共証書面地所質入書入規則第九條ノ通戸長ノ與書証印有之候ハ、金主ノ所有地トナルコト

全年第百九十九号公布

明治八年十二月一日ヨリ建物書入質規則施行以後建物書入質ノ借用証文又ハ預リ証文ニハ必ス返濟ノ期ヲ定ムヘシ若シ其期限ヲ定メサルキハ書入質ナキ借用預リ証文同様タルヘシ

全年十二月名東縣ニ指令

明治八年第五十三号布告ハ地所質入書ニ限ル其他ノ物品ニ照準スル規則ニ非ス

卅九

九年一月京都裁判所ニ指令

丁卯十二月晦日己巳六月廿五日前ノ地所書入ノ金穀貸借証ヲ七年十月卅一日迄ニ質入書入規則第九條ニ照シ與書割印ヲ受ケ置キタルハ公正ノ証ニ付負債主身代限ノ節訴ヘサレハ八年第五十三号公布ノ通處分スヘシ

全年第六十三号及ヒ第八十二号公布

不動産書入質ノ証調理ノ際其地家主實印不見當等ノキハ其者承知ノ上區戸長其旨ヲ與書中ニ書ス其証書ハ他日書替スル實印アル証ト同一ナリ

但實印ナキキハ保証人二員以上連印ノコト

全号公布

質入ノ動不動産糶賣ノキ負債ノ高ニ不足スルキハ外物品ヲ以テ償却セシム

十年第六号公布

八年第百四十八号但書追加但官有ノ借地ニ建テ在ルキハ其所屬官廳ニ請ヒテ其貸地タルコトヲ証スルノ與書ヲ受クヘシ

全年第二十八号公布

人民所有ノ船舶ヲ金穀借用ノタメ書入質トナサントスルキハ諸建物書入質規則ニ準據シ書入主ヨリ其船ノ圖面ト約定書トニ本船管轄地戸長ノ公証ヲ受クヘシ若シ右ノ手續ヲ爲サ、レハ其約定証文ハ尋常金穀貸借証書ト見做スヘシ

全号公布

前同斷此規則御布告以前書入質ト爲シタル分ハ明治十年六月三十日迄ニ前同斷ノ手續ヲ以テ更ニ約定書改正可致尤航海中或ハ不得

質入ノ動不動産糶賣ノ片負債ノ高ニ不足スル片ハ外物品ヲ以テ償却セシム

十年第六号公布

四十

八年第四百十八号但書追加但官有ノ借地ニ建テ在ル片ハ其所屬官廳ニ請ヒテ其貸地タルヲ証スルノ與書ヲ受クヘシ

全年第二十八号公布

人民所有ノ船舶ヲ金穀借用ノタメ書入質トナサントスル片ハ諸建物書入質規則ニ準據シ書入主ヨリ其船ノ圖面ト約定書トニ本船管轄地戸長ノ公証ヲ受クヘシ若シ右ノ手續ヲ爲サ、レハ其約定証文ハ尋常金穀貸借証書ト見做スヘシ

全号公布

前同斷此規則御布告以前書入質ト爲シタル分ハ明治十年六月三十日迄ニ前同斷ノ手續ヲ以テ更ニ約定書改正可致尤航海中或ハ不得已事故アリテ右期日マテニ書換難致者ハ其旨其本船管轄地戸長役所ヘ届置クヘシ然ラサレハ書入質ノ効ナキ

十年内務省甲第六号布達

建物書入質ノ証書面ニハ造作物ノ有無ヲ記載ス可キ事(庇縁板押入

四十一

床ノ間ノ類)

全年第廿八号東京上等裁判所ヘ指令

與書割印ナキ証書モ契約ヲナス双方ノ間ニハ質入書入ノ効アリ他ノ債主ニ係ル片ハ此限ニ非ス

全年四月福島裁判所ヘ指令

十年内務省甲第六号達ニ背キ造作物ノ有無ヲ記セサレハ其造作物ニ特權ヲ失フ迄ニテ八年第四百十八号公布ノ効ニ於テハ妨ケナシ

全年四月長野縣ヘ指令

但布達前ノ分ハ固ヨリ限外ナリト心得ヘシ

一番証書々換遷延中ニ番書入ヲナス後一番ノ書換ヲ願ヘハ前ノ書入ヲ繼クモノニ付其事由ヲ記シ一号ノ與書ヲナス可シ

同年五月第四十三号公布

神社寺院ニテ其社寺ノ爲メ金穀ヲ借入ルトキ若シハ抵當地所建ト爲ス片ハ必ス氏子檀家總代二名以上ノ連署ナキハ神官僧侶ノ私債

四十二

ト看做ス

同年七月愛媛縣ヘ指令

書入質ノ物ヲ以テ償却シ尙金高不足シ身代限弁償スル分ハ尋常債主同様割賦ニ止ル

同年九月青森縣ヘ指令

戸主不在中家事總理ノ委任ヲ受ケタルモノ不動産質入書入スル片ハ親族ノ見込ニ任セ戸長與印ス可シ

十二年第七号公布六年第十八号公布改正

地所引渡ス片ハ舊地主ヨリ金主ヘ可引渡別紙ニ認メ其地ノ戸長ヘ加印ノ上金主ヨリ地券ヲ添ヘ確認ノ証ヲ出ヘシ

身代限請人証人

神社寺院ニテ其社寺ノ爲メ金穀ヲ借入ルトキ若クハ抵當地所建ト爲スルハ必ス氏子檀家總代二名以上ノ連署ナキハ神官僧侶ノ私債

ト看做ス

同年七月愛媛縣ニ指令

書入質ノ物ヲ以テ償却シ尙金高不足シ身代限弁償スル分ハ尋常債主同様割賦ニ止ル

同年九月青森縣ニ指令

戸主不在中家事總理ノ委任ヲ受ケタルモノ不動産質入書入スルルハ親族ノ見込ニ任セ戸長與印ス可シ

十二年第七号公布六年第十八号公布改正

地所引渡スルハ舊地主ヨリ金主ニ可引渡別紙ニ認メ其地ノ戸長ニ加印ノ上金主ヨリ地券ヲ添ヘ確認ノ証ヲ出ヘシ

身代限請人証人

五年百八十七号太政官達

華士族平民共身代限規則ヲ定ム抵償トシテ差押ヲ可ラサル品類  
一時服着替共男女二通 一夜具 二通

- 一 職業ニ必要ナル品物ハ金額五十圓迄
- 一 食料ハ家族一夕月間用サル飯米

五年二百七十五号公布

父兄ト同居ノ子弟或ハ別居異産ノ者又ハ隱居別宅異産ノ者一己ノ借金証文中本家戸主調印ナキ上ハ其者所持ノ財産物品ノミヲ以テ濟方スヘシ

六年二百五十二号公布

借主身代限ノキハ期限未滿ノ証書ニテモ准理スヘシ  
同年百九十五号太政官達

借主身代限不足或ハ逃亡死失相續人無之キハ請人弁償ノ明文ニテ請人トアレバ六年八月一日前ノ分ハ請人証人ヨリ弁償スヘシ八月一日ヨリ八年十月一日迄ノ証書ニテ請人証人ノ明文ナキハ証人請人ヨリ弁償セス

同年七月濱松縣ニ御指令

凡貸金証書中万一期限ニ至リ當人返濟出來兼候ハ、証人引請迷惑相掛間敷等書載有之分ハ本人身代限ニテ不足ノ分証人ヨリ返償ヲ受クヘシ

七年二月山口縣ニ御指令

本主某ノ地ニアリ各所ニ支店ヲ置キ營業ス其支店ニ對シ金穀貸與ニ返濟滞ルキハ本店支店ヲ合セ身代限迄ノ濟方受ク可シ  
同年第二十三号司法省達

身代限ニ遭フ者余人ニ貸金ノ証書等アレハ其証書ハ糶賣シテ分配金ノ内ニ加フ可シ

同号達第四條ニ付函館裁判所ニ指令

証書落札シタルキ返濟ニ可受取金ハ勿論落札ノ金員モ可受取金高

一日ヨリ八年十月一日迄ノ証書ニテ請人証人ノ明文ナキハ証人請人ヨリ弁償セス  
同年七月濱松縣へ御指令

四十四

凡貸金証書中万一期限ニ至リ當人返濟出來兼候ハ、証人引請迷惑相掛間敷等書載有之分ハ本人身代限ニテ不足ノ分証人ヨリ返償ヲ受クヘシ

七年二月山口縣へ御指令

本主某ノ地ニアリ各所ニ支店ヲ置キ營業ス其支店へ對シ金穀貸與へ返濟滯ルキハ本店支店ヲ合セ身代限迄ノ濟方受ク可シ  
同年第二十三号司法省達

身代限ニ遭フ者余人へ貸金ノ証書等アレハ其証書ハ糶賣シテ分配金ノ内へ加フ可シ

同号達第四條ニ付函館裁判所へ指令

証書落札シタルキ返濟ニ可受取金ハ勿論落札ノ金員モ可受取金高ト引去ル

八年第百二号公布

八年十月一日後本人身代限ニテ不足相立カ借主逃亡死失相續人無

四十五

之キハ証書へ加印ノ者ヨリ弁償スヘシ

同年第百三号公布

寺院身代限ノ方法ヲ定ム

同年五月瀨治裁判所へ指令

身代限ノ儀ハ相對熟談ト雖モ總テ規則ノ通處分及フヘキ事

同年同月京都裁判所へ指令

身代限六十日間揭示中熟談濟方届出ルヒ未滿ノ内ニ處分ス可カラ

ス

同年同月高知縣へ指令

借金抵當物ヲ債主請取度申スニ渡サス又負債主モ物品代金マテニテ義務ヲ免レントスル事ヲ得ス必ス物品賣拂ヒ殘リハ身代限迄ノ處分ニ及フ依テ請人ニテモ本人身代限不足スレハ殘リ引受ヘキ事

同年同月滋賀縣へ指令

身代限入費役場ヨリ立替ノ分ハ先立權ノ者ヨリ第一番ニ引去ル可

四十六

同年同月宮城縣へ指令

金策中幾日間被告人自書對談日延テ願ヒ其期日ニ失踪スレハ直チニ失踪者ノ財産取調置六ヶ月后相續爲ス可キ者ニ身代限濟方申付ヘシ

同年同月大阪裁判所へ指令

揭示中債主復歸セサル時ハ滿六ヶ月ニ至リ相續人ニ糶賣金ヲ與フ

可シ

同上

身代限揭示前ニ抵償物毫モナキ事明白ナルキハ六十日ノ揭示ニ及ハス直ニ六年第百九十五号ノ通証文裏書債主へ下付ス



處分ニ及テ依テ請人ニテモ本人身代限不足スレハ残り引受ヘキ事  
同年同月滋賀縣へ指令

四十六

身代限入費役場ヨリ立替ノ分ハ先立權ノ者ヨリ第一番ニ引去ル可  
シ  
同年同月宮城縣へ指令  
金策中幾日間被告人自書對談日延テ願ヒ其期日ニ失踪スレハ直チ  
ニ失踪者ノ財産取調置六ヶ月后相續爲ス可キ者ニ身代限濟方申付  
ヘシ

同年同月大阪裁判所へ指令

揭示中債主復歸セサル時ハ滿六ヶ月ニ至リ相續人ニ糶賣金ヲ與フ

可シ

同上

身代限揭示前ニ抵償物毫モナキ事明白ナルキハ六十日ノ揭示ニ及  
ハス直ニ六年第九百九十五号ノ通証文裏書債主へ下付ス

同年十月東京上等裁判所へ指令

身代限言渡ノ後控訴スレハ差押ノ財産及ヒ揭示ハ其儘ニシテ執行  
ノミヲ止ム

四十七

同年十二月滋賀縣へ指令

身代限揭示中租税不納ヲ訴出サレハ裁判官ニ於テ先取ノ權者トシ  
テ取調ニ及ハス

九年二月敦賀縣へ指令

職業必要品五拾圓内ノ物ヲ抵當トシテ取置ク者先取ノ權ナシ

同年五月筑前縣へ指令

自今華士族身代限ノ節大小類ト雖モ糶賣分配ニ加フ

同年十一月神戸裁判所へ指令

身代限制賦順序

- 一 郵便代並裁判所ノ諸入費
- 二 國稅
- 三 府縣稅
- 四 區入費
- 五 質入書入金
- 六 尋常債主並ニ入費

同年十二月名古屋裁判所へ指令

身代限財産取調及ヒ賣拂ノ節其請人証人立會スルコトハ裁判官ノ見

四十八

込ニ任ス

同月島根縣へ指令

數名連署分借明文無之期限内負債主ノ中一人身代限ニ達フキハ証  
文金全額ヲ掲ケ分散金ヲ要スレハ受理ス可シ

十年第七十九号公布

國稅營業稅府縣稅民費不納公賣手續布告有之ニ付布告ニ矛盾スル  
布告達ハ廢シ

十年乙第八十六号内務省達

人民身代限ノ節區入費ノ餓ハ國稅縣稅ニ亞キ先取ノ權有之ニ身代  
限ノ上不足スルハ尙不及償却其區ノ損失ト必得可シ

同年三月函館裁判所へ指令

六尋常債主並ニ入費

同年十二月名古屋裁判所へ指令

身代限財産取調及ヒ賣拂ノ節其請人証人立會スルコトハ裁判官ノ見

込ニ任ス

同月島根縣へ指令

數名連署分借明文無之期限内負債主ノ中一人身代限ニ違フルハ証  
文金全額ヲ掲ケ分散金ヲ要スレハ受理ス可シ

十年第七十九号公布

國稅營業稅府縣稅民費不納公賣手續布告有之ニ付布告ニ矛盾スル  
布告達ハ廢シ

十年乙第八十六号内務省達

人民身代限ノ節區入費ノ儀ハ國稅縣稅ニ亞キ先取ノ權有之ニ身代  
限ノ上不足スルハ尙不及償却其區ノ損失ト心得可シ

同年三月函舖裁判所へ指令

本人身代限ノ後請人へ數年ヲ經テ訴レハ受人ニ於テハ義務ヲ放ツ  
モノナリ

同年九月岩手縣へ指令

身代限糶賣揭示中耕作ノ期節ニ至ルルハ耕耘方債主ノ承諾ニ任ス  
可シ

同年十一月水戸裁判所へ指令

負債者身代限揭示中ナルニ其負債者ニ他ヨリ金ヲ貸與フルハ其事  
ヲ知ラサルニ不拘無効ナリ但尙殘餘アレハ償還ニ充ツ

代言人代人之部

八年五月飾廣縣へ指令

甲ヨリ乙へ代人 其疾ニテ其事ニ係ル能ハス甲ノ委任狀ヲ添へ  
テ乙ヨリ丙へ委任スレハ丙ヲ本人部理代人トス

同年六月名東縣へ指令

代人ヲ以テ訴訟入費ヲ訴フルハ委任ヲ受タル事件ノ局ヲ終ルコトニ  
テ別訴ヲ以テ論ス可カラズ且裁判執行ハ別ニ訴訟ヲ爲スニ及ハス  
申立書ヲ出ヘキ儀ナリ

九年第十八号公布

明治六年第二百四十七号公布訴答文例中代言人ノ條三月三十一日  
限り廢シ

同年司法省甲第一号布達

九年四月一日後免訴ヲ經サル者へ代言頼ムコト不相成若シ代言人無  
之本人疾病事故ニテ不得止場合ハ其父子兄弟叔姪ノ内之ニ代ルヲ  
得ヘク若シ至親無レハ區戶長ノ証書ヲ以テ相當ノ代人ヲ出スコト不苦  
同年司法省達第四十号

七年甲第九号裁判所取締規則中代言人ノ條廢シ

同年司法省甲第四号達

明治九年司法省甲第一号達ニ付尙一般人民ノ雇人十ヶ月以上不斷  
雇ノ者ニ限リ至親同族代人ヲ出シ得ルコトヲ代言人並代言人ヲ出シ得ル場合

代人ヲ以テ訴訟ノ費用ヲ訴ナルハ委任ヲ受タル事件ノ局ヲ終ルコトニテ別訴ヲ以テ論ス可カラズ且裁判執行ハ別ニ訴訟ヲ爲スニ及ハス申立書ヲ出ヘキ儀ナリ  
九年第十八号公布

明治六年第二百四十七号公布訴答文例中代言人ノ條三月三十一日限リ廢シ

同年司法省甲第一号布達

九年四月一日後免訴ヲ經サル者ハ代言頼ムコト不相成若シ代言人無之本人疾病事故ニテ不得止場合ハ其父子兄弟叔姪ノ内之ニ代ルヲ得ヘシ若シ至親無レハ區戸長ノ証書ヲ以テ相當ノ代人ヲ出スコト不苦  
同年司法省達第四十号

七年甲第九号裁判所取續規則中代言人ノ條廢シ

同年司法省甲第四号達

明治九年司法省甲第一号達ニ付尙一般人民ノ雇人十ヶ月以上不斷雇ノ者ニ限リ至親同様代人タルヘシ總テ代人並代言人ヲ出ス場合ハ委任狀ヲ渡シ又ハ訴狀ニ與書スヘシ

同年四月東京裁判所ヘ指令

代人ハ代言人ト異ナリ至親代人ナレハ女子ダリト苦シカラス

同年同月宮城上等裁判所ヘ指令

總理部理 至親ニ非スノ代人ハ代言人規則ニ依ル

但一村連帶ノ訟ニテ其中一人又ハ數人總代タルハ規則ニ關係無之

同年五月滋賀縣ヘ指令

母女姉妹並伯甥ハ父子兄弟叔姪ト同視スヘシ

同上

至親ト雖モ住所遠ク實際ニ便ナラサルモ必シモ規則ニ拘ハラズ

同年五月濱田縣ヘ指令

代言人ト雖モ疾病永ク出頭シ難キハ更ニ本人ヲ呼出シ又ハ他ノ代人ヲ出サシム

同年同月熊谷裁判所ヘ指令

祖父孫妻等モ父子兄弟ト同視ス可シ

同上

區戸長ノ証書ハ其本人至親ナクシテ不得已誠實ヲ証ス迄ノモノナ

同年同月飾廣縣ヘ指令

十ヶ月以上不斷雇ノ旨ヲ與書委任狀ニ認ムルニ及ハス雇人不審ノ節ハ戸長役場ヲ調フヘシ

十一年一月東京裁判所ヘ指令

免許代言人規則第十四條ヲ犯シタルヲ以テ民事裁判官管發シ檢事求刑スルモハ刑事裁判官直ニ罰目ニ擬シ宣告ス

十二年司法省丁第十一号

免許代言人除名停業ノ處分ニ及フモハ其届書ニ右宣告文案ノ寫ヲ副テ進達シ引揚タル免狀ハ之ヲ下付シタル地方廳ヘ送付スヘシ

同年同月熊谷裁判所へ指令

祖父孫妻等モ父子兄弟ト同視ス可シ

同上

區戸長ノ証書ハ其本人至親ナクシテ不得已誠實ヲ証ス迄ノモノナ

五十二

同年同月飾廣縣へ指令

十ヶ月以上不斷雇ノ旨ヲ與書委任狀ニ認ムルニ及ハス雇人不審ノ節ハ戸長役場ヲ調フヘシ

十一年一月東京裁判所へ指令

免許代言人規則第十四條ヲ犯シタルヲ以テ民事裁判官告發シ檢事求刑スルハ刑事裁判官直ニ罰目ニ擬シ宣告ス

十二年司法省丁第十一号

免許代言人除名停業ノ處分ニ及フハ其届書ニ右宣告文案ノ寫ヲ副テ進達シ引揚タル免狀ハ之ヲ下付シタル地方廳へ送付スヘシ

同年同月同省丙第三号達

免許代言人犯罪處分ニ係リ引揚タル免狀ヲ裁判所ヨリ送付スルハ速ニ返納ス可シ

訴訟入費之部

五十三

八年六月十九日司法省達

官吏公事ニ付負訴訟人費償辨方ノ儀ニ付達有之事

九年司法省甲第五号布達

訴訟入費償却規則左ノ通

訴狀其外書類認料ハ十六行十五字

出席日一日ニ付 証人引合人差添人原被直者手

當金 付五十錢ナリ 同上八里外ヨリ止宿 二十五錢 証人引合人差添

八原被直者八里外滯留中手當 一日ニ付 五十錢ナリ(九年司法省甲第六号布

達ヲ以テ當分行ハス)証人引合人差添人原被直者 八里ニ付(八里毎ニ

十錢)通辨雇料 一日ニ付 翻譯料 十六行十五字

三圓ナリ 一枚二圓

九年五月宮城上等裁判所へ指令

郵紙代價ハ訴訟入費償却規則ノ限ニ非スト雖モ若シ直者ヨリ曲者

ニ對シ其代價ヲ請求スルニ於テハ償却致サス可キ事

全年十二月筑前縣へ指令

終審裁判ノ曲者ハ初審ノ入費ヲモ可償却儀ト心得ヘシ

五十四

十年二月大審院へ指令

九年司法省甲第一号布達中相手方ノ延期ヨリ生シタル費用ハ相手方ノ請求ナキハ償ハシメス

全年十二月金澤裁判所へ指令

詞訟中測量吏員ヲ地方廳ヨリ出張セシムルハ其旅費等ハ詞訟者ヨリ仕拂置キ追テ曲者ヨリ償フヘシ

十一年司法省丁第一号達

九年甲第五号訴訟入費償却規則ハ當分外國人民へハ施行難相成事

全年三月全省丁第十号達

民事上人民喚出狀送達費余儀ナク一時裁判所ヨリ立替タルモノハ

ニ對シ其代價ヲ請求スルニ於テハ償却致サス可キ事  
全年十二月筑戸縣へ指令

終審裁判ノ曲者ハ初審ノ入費ヲモ可償却儀ト心得ヘシ

十年二月大審院へ指令

九年司法省甲第一号布達中相手方ノ延期ヨリ生シタル費用ハ相手  
方ノ請求ナキハ償ハシメス

全年十二月金澤裁判所へ指令

詞訟中測量吏員ヲ地方廳ヨリ出張セシムルハ其旅費等ハ詞訟者  
ヨリ仕拂置キ追テ曲者ヨリ償フヘシ

十一年司法省丁第一号達

九年甲第五号訴訟入費償却規則ハ當分外國人民へハ施行難相成事  
全年三月全省丁第十号達

民事上人民喚出狀送達費余儀ナク一時裁判所ヨリ立替タルモノハ  
其時々直チニ詞訟人ヨリ取立ツヘシ

全年全省丁第四十四号達

訴訟入費請求セント欲スルモノハ裁判言渡前ニ請求候様可爲致事  
十二年同省丁第十号達

裁判費訴訟費償却方

一例 初告 (原甲勝) 乙入費ヲ拂フ

控訴 (原乙勝) 甲ハ初告控訴兩件ノ入費ヲ拂フ

破毀セス 上告 (原甲負) 甲ハ初告控訴兩件ノ入費ヲ拂フ

初告 (甲勝或ハ負) 乙入費ヲ拂フ

控訴 (甲勝) 甲ハ初告控訴ノ入費ヲ拂フ

上告 (甲勝) 乙入費ヲ既ニ償ヒシナラハ取還ス可シ

上告 (乙負) 乙入費ヲ既ニ償ヒシナラハ取還ス可シ

三例 此例ハ大審院ニ於テ破毀シタル後第二ノ上等裁判所ニ移

シタル場合ナリ

此時負者ハ初告ト第一扣訴ト第二控訴ト都合三件ノ入費ヲ拂  
フヘシ上告入費ニ至テハ其ノ上告ノ負者之ヲ拂ヒ第二控訴ノ  
負者ハ之ヲ拂フヘキニ非ス

### 金祿公債証書之部

九年第九号布告

今般第百八号布告ノ金祿公債証書ハ書入質入並賣買約定取結ヲ禁  
ス

十年一月金澤裁判所へ達

家祿奉還願中追々下賜セラレヘキ資本金ヲ抵當トナシ借貸スルハ  
未必ノ契約ナレトモ家祿書入ニ非レハ五年第三百号公布ニ觸レス  
全年九月仙臺裁判所盛岡支廳へ指令

華士族賍罪ヲ犯シ資力限リ追徴ニ臨シ金祿公債証書ノミハ賣買差

許サ、ルニ付追徴スルノ限コアラズ

十一年第二十五号公布

金祿公債証書書入質入並賣買約定取結不苦事

全年司法省丁第三十三号達

負者ハ之ヲ拂フヘキニ非ス

### 金祿公債証書之部

九年第九号布告

五十六

今般第百八号布告ノ金祿公債証書ハ書入質入並賣買約定取結ヲ禁ス

十年一月金澤裁判所ヘ達

家祿奉還願中追々下賜セラルヘキ資本金ヲ抵當トナシ借貸スルハ未必ノ契約ナレトモ家祿書入ニ非レハ五年第三百号公布ニ觸レズ  
全年九月仙臺裁判所盛岡支廳ヘ指令

華士族賍罪ヲ犯シ資力限リ追徴ニ臨シ金祿公債証書ノミハ賣買差

許サ、ルニ付追徴スルノ限コアラズ

十一年第二十五号公布

金祿公債証書書入質入並賣買約定取結不苦事

全年司法省丁第三十三号達

本年第二十五号公布前密約ノ金祿公債証書入質賣買ハ唯貸借ノ分ノミ有効ノモノト心得可シ

### 土地境界之部

五十七

八年第七十三号太政官達

市街郡村ニ属スル揭示場官有地ニ新設ノ分ニ官地第三種ニ組ム尤モ新設修繕等一切ノ費用ハ村市ニ於テ可相辨事

九年内務省乙第三十四号達

官有地拂下金未納中ハ所有ノ權無之ニ付質入書入不相成但地券授與前ノルル其地ヨリ生スル利益ハ拂受人ノ有トシ地租區入費等拂受人ヨリ納ム可シ

同年第六十六号公布

此布告前上地ノ中内賣買質質地ト相成分ハ其罪ヲ問ハズ又買得者質取主ヘ無代ニテ渡シ此布告以後ニ係ルモノハ律ニ照シ處分ス可シ  
全年第六十七号公布

隱田切開切添地等處分方相定ムニ付若シ府縣地租改正濟後ニ發スル者ハ律ニ照シ處分ス

同年内務省乙第九十九号達

五十八

社寺領上地處分方本年八十七号ヲ以テ達スニ付本年十二月廿五日後ニ申出ル者ハ何等ノ事故確証アルトモ一切採用セス

十年五月福島縣ヘ指令

人民所有地境界爭出訴ニ付實地測量手續ハ其裁判官適宜可致事

同年五月民法課ヨリ地理局ヘ回答

地所敷金ハ地所ニ附キタルモノニ付地所糶賣トナルトモ賃主ノ義務ハ新地主ニ負擔スヘキ者ナリ然レハ右敷金ハ地所貸借ノ満期ニ至

リ新地主ヨリ借主ニ返ス可シ

### 租稅ノ部

九年五月愛媛縣ヘ指令

租稅及ヒ方今ノ印稅ノ如キ一切ノ諸稅未納者身代限ノ節ハ本年四

隠田切開切添地等處分方相定ムニ付若シ府縣地租改正濟後ニ發スル者ハ律ニ照シ處分ス

同年内務省乙第百十九号達

社寺領上地處分方本年八十七号ヲ以テ達スニ付本年十二月廿五日後ニ申出ル者ハ何等ノ事故確証アルモ一切採用セズ

十年五月福島縣ニ指令

人民所有地境界争出訴ニ付實地測量手續ハ其裁判官適宜可致事同年五月民法課ヨリ地理局ニ回答

地所敷金ハ地所ニ附キタルモノニ付地所糶賣トナルモ貸主ノ義務ハ新地主ニ負擔スヘキ者ナリ然レハ右敷金ハ地所貸借ノ満期ニ至

リ新地主ヨリ借主ニ返ス可シ

### 租税ノ部

九年五月愛媛縣ニ指令

雜稅及ヒ方今ノ印稅ノ如キ一切ノ諸稅未納者身代限ノ節ハ六年四百二十二号布告ニ照シ六十日揭示ニ及ハス

同年同月敦賀縣同大藏省指令

諸釀造稅車稅ノ類納期前ニ身代限スルモハ期限ニ至ラサルモ其稅

ハ裁判官ニ通シ上稅セシム

同年十二月敦賀縣ニ指令

身代限ノ者酒類稅ノ如キ平均相場定メ方前年十月一日ヨリ身代限申渡シノ月迄ノ平均相場ヲ以テ額ヲ定ム

同年同月嶋根縣ニ指令

身代限ノ揭示日限ニ拘ハラス財産分配處分濟迄ノ區入費取立サセ然ル可シ

同上

區入費ハ抵當アル債主ニ先キタツ者ニ付質入書入ニナス爲サ、ルトニ拘ハラス先ツ區入費ヲ取立ツヘシ

十年第五十三号公布

租稅納期限市街地租ハ該年七月翌年一月兩度ニ其五分宛収納ス可シ

一期 七月ヨリ畑宅地山林 二分 二期 九月一日ヨリ 同五分

三期 十一月ヨリ 同 三分 四期 十二月ヨリ 田方 五分  
五期 二月ヨリ 同 三分 六期 四月ヨリ 同 二分  
十年九月仙臺裁判所ニ指令

地券稅未納身代限ノ際地所荒蕪望人ナキモ之ヲ未納者所持セシムルト否トハ収稅官ノ見込ニ任ス人民相互ノ貸借上ヨリ起ル者本文ノ通タルヘシ

全年十月福島縣ニ指令

身代限ノ節區入費ヲ區戶長ヨリ訴出ルハ通常公文用紙ニテ照會セシム

全年七十九号公布

租稅納期限市街地租ハ該年七月翌年一月兩度ニ其五分宛收納ス可

一期 七月ヨリ 畑宅地山林 二分 二期 九月一日ヨリ 同五分  
八月限 原野牧野

六十

三期 十一月ヨリ 同 三分 四期 十二月ヨリ 田方 五分  
十二月十五日迄  
五期 二月ヨリ 同 三分 六期 四月ヨリ 同 二分  
三月限 同月三十日限

十年九月仙臺裁判所へ指令  
地券稅未納身代限ノ際地所荒蕪望人ナキキ之ヲ未納者所持セシム  
ルト否トハ收稅官ノ見込ニ任ス人民相互ノ貸借上ヨリ起ル者本文  
ノ通タルヘシ

全年十月福島縣へ指令

身代限ノ節區入費ヲ區戶長ヨリ訴出ルハ通常公文用紙ニテ照會セ  
シム

全年七十九号公布

租稅未納ノ者ハ從來怠納金ヲ徵シ本人身代限ヲ以テ取立ル等ノ處  
分有之處自今廢シ更ニ國稅營業稅府縣稅民費不納者財產公賣手續  
ヲ定メラル

十一年二月大藏省乙第七号ヲ以テ右公布ニ付取扱方心得書ヲ達セ

六十一

ラレタルニ付詳細ハ該達ニ就テ見ルヘシ  
十一年內務省乙第七十九号達

十年第七十九号公布地方稅ヲ不納スルモノ財產公賣徵收ノ後不足  
スルキハ管内一般ノ損失トシテ賦課ス  
全年第三十九号公布

地方稅中營業稅雜種稅ノ種類及ヒ制限左ノ通相定候條此旨布告候事  
營業稅分ツテ三類トス其稅額第一類ハ金十五圓以內トシ第二類

ハ金十圓以內トシ第三類ハ金五圓以內トス其目左ノ如シ  
但シ國稅アルモノヲ除ク

第一類 諸會社及ヒ諸卸賣商 第二類 仲買商  
第三類 諸小賣及ヒ雜商

押印之部

五年第九十七号公布  
人民實印ヲ他人へ預ケ候一固禁シ候ニ付右等ヨリ起ル訴ハ裁判セス

六十二

六年第八十四号公布  
婦女一家戶主タルキハ自印ヲ用ユヘシ

全年第二百二十五号公布  
私用ノ証書へ官名ヲ記シ及ヒ官名ヲ彫刻セシ印ヲ捺スヲ禁ス事  
全年十一月東京裁判所へ指令  
戶主ニ非サル者ヨリ裁判所へ差出ス書類ニハ爪印花押妨ナシ

七年司法省第十七号達

原被ヨリ出ス証據物ニハ判官年月日番号記載押印ノ事  
七年第八十一号及ヒ八年第八十三号公布

証券印稅規則ニ相觸レ候証書並帳簿ヲ以テ公裁ヲ願ハント欲スル  
節ハ証文ハ受取生帳簿ハ帳簿主ニテ規則相當ノ印紙ヲ貼用シ自分



押印之部

五年第九十七号公布

人民實印ヲ他人へ預ケ候ト固禁シ候ニ付右等ヨリ起ル訴ハ裁判セス

六十二

六年第八十四号公布

婦女一家戸主タルキハ自印ヲ用ユヘシ

全年第二百二十五号公布

私用ノ証書へ官名ヲ記シ及ヒ官名ヲ彫刻セシ印ヲ捺スヲ禁ス事  
全年十一月東京裁判所へ指令

戸主ニ非サル者ヨリ裁判所へ差出ス書類ニハ爪印花押妨ナシ  
七年司法省第十七号達

原被ヨリ出ス証據物ニハ判官年月日番号記載押印ノ事  
七年第八十一号及ヒ八年第八十三号公布

証券印稅規則ニ相觸レ候証書並帳簿ヲ以テ公裁ヲ願ハント欲スル  
節ハ証文ハ受取主帳簿ハ帳簿主ニテ規則相當ノ印紙ヲ貼用シ自分  
ノ實印ニテ消印セハ其効アリ

全年三月山口縣へ指令

明治六年十一月以前金穀預リ証文或ハ爲換手形ノ類店印用ユルモ

六十三

仍ホ証據ノ効ヲ有ス

八年司法省甲第一号布達

明治六年第二百十二号年月日畧記ノ諸証書ハ裁判上証據ニ不相立  
トアルハ年月日ノ早晚ヲ定ムル証ニ不立其証書記入ノ件ハ裁判及  
フヘシ

八年第七十七号公布

証書ノ數字ハ壹貳拾ノ字ヲ用ヒ改作塗抹スレハ其處ニ押印シ一紙

ニ尽カス又ハ帳簿ニハ繼目綴目ニ押印スヘシ

同年第一百十号太政官達

官印章勅任ハ九分奏任ハ七分判任ハ六分トシ官名苗名ヲ刻ス可シ

全年五月廣島縣へ指令

貸金等年月日原被口供符合セサレハ利足計算ヲ得ス然レモ年月日  
記入ヲ訴出レハ採上ヘシ

全年六月熊谷裁判所へ指令

六十四

本人請入連名ノ証書ニテ本人押印無之請入ノミ押印有之キハ請入  
へ係リ願ヒ出レハ請入本人共吟味ノ上本人借受タルニ相違ナケレハ  
本人ヨリ全ク請入ニ於テ融通致シタルナレハ請入ヨリ濟方致サス可シ  
九年第七十六号公布

華士族金穀貸借ハ自今都テ本人ノ名印ナキモノハ効ナシ

全年四月熊本縣へ指令

賈入書入賣買讓渡証文ヲ除キ金穀ノ貸主又ハ農具販賣主ヨリ區戸

長ノ與書ヲ求ムルキ官名ヲ記シ官名ヲ刻スル印ヲ用ユル者ハ六年

第二百二十号達ニ觸ル

十年第五十号公布

記入ヲ訴出レハ採上ヘシ

全年六月熊谷裁判所へ指令

六十四

本人請人連名ノ証書ニテ本人押印無之請人ノミ押印有之ハ請人  
へ係リ願ヒ出レハ請人本人共吟味ノ上本人借受タルニ相違ナケレハ  
本人ヨリ全ク請人ニ於テ融通致シタルナレハ請人ヨリ濟方致サス可シ  
九年第七十六号公布

華士族金穀貸借ハ自今都テ本人ノ名印ナキモノハ効ナシ  
全年四月熊本縣へ指令

質入書入質買渡証文ヲ除キ金穀ノ貸主又ハ農具販賣主ヨリ區区

長ノ與書ヲ求ムルハ官名ヲ記シ官名ヲ刻スル印ヲ用ユル者ハ六年  
第二百二十号達ニ觸ル

十年第五十号公布

諸証書十年第六十四号公姓名ハ必ス本人自書シ實印ヲ押スヘシ自書能ハ  
布契約ノ証ニ限ル

サレハ實印ヲ捺シテ代書セシムルヲ得代書セシモノハ其事由ヲ記ス可シ

全年第八十七号公布

賣買ノ約定諸取引ノ約定ヲナス証書ニハ可成丈其趣意ヲ明確ニシ

六十五

疎漏曖昧ノ事ナキ様注意ス可シ

同年三月三重縣へ指令

實印ノ押捺無之ハ金員姓名等ヲ自署セシ者ハ固ヨリ証據ノ一端ニ  
相成ルモノタルハ勿論ノ事

同年九月山形縣へ指令

十年第五十号布告ハ証書ヲ確實ナラシムル爲ノ法律ニテ此手續ヲ  
踐マサル証書ハ無効ニ歸スヘシト謂フ非ス

### 証券印紙之部

六年第五十六号公布証券印紙規則發行

金子受取金銀貸借地所賣買質入書入爲替請取諸約定等凡ソ人民互

ニ證文手形書付類ヲ以後日ノ証據ニ可致品ハ本年六月一日以後証

券印紙規則ニ依リ相當ノ印紙ヲ貼用スヘシ若シ印紙ヲ貼用セザレ

ハ其証書ハ裁判上証據ニ不相立事

七年第八十一号公布

六十六

明治六年第五十六号以下ノ公布証券印紙規則總テ相廢シ更ニ規則

改定本年九月一日ヨリ施行ノコト

八年第二百二十号公布

諸商業ニテ各廳ヨリ用向被申付候モノ受書類ノ中受負約定筋ニ相  
涉リ候者ハ相當印紙界紙ヲ貼用スヘシ

同年十二月青森縣へ指令

委任狀ハ界紙ヲ用ユヘシ一事件ニテ數名ヨリ委任スルハ一枚ノ界

紙ニ書尽サ、ル余名ハ幾枚ニテモ他ノ界紙ニ認ムヘシ殘餘ヲ並紙

ニ認ムルハ犯則トス

同年第八十三号公布

明治七年第八十一号証券印稅規則改定ニ付六年六月一日以後七年

券印紙規則ニ依リ相當ノ印紙ヲ貼用スヘシ若シ印紙ヲ貼用セサルハ其証書ハ裁判上証據ニ不相立事  
七年第八十一号公布

六十六

明治六年第五十六号以下ノ公布証券印紙規則總テ相廢シ更ニ規則改定本年九月一日ヨリ施行ノコト  
八年第二百十号公布

諸商業ニテ各廳ヨリ用向被申付候モノ受書類ノ中受負約定筋ニ相涉リ候者ハ相當印紙界紙ヲ貼用スヘシ  
同年十二月青森縣ニ指令

委任狀ハ界紙ヲ用ユヘシ一事件ニテ數名ヨリ委任スルルキ一枚ノ界紙ニ書尽サ、ル余名ハ幾枚ニテモ他ノ界紙ニ認ムヘシ殘餘ヲ並紙ニ認ムルハ犯則トス  
同年第八十三号公布

明治七年第八十一号証券印稅規則改定ニ付六年六月一日以後七年八月三十一日前ノ分凡証書受取主帳簿主ニテ相當ノ印紙ヲ自ラ貼用押印ノ上訴出ルルキハ採上ル  
九年一月三重縣ニ指令

六十七

印紙ヲ消スニハ必ス名面下ノ印ヲ以テスヘシ若シ別印ナレハ消印セサルモノト同視スヘシ

同年同月小田縣ニ指令

米穀賣買証書ニテ代價ヲ記スルモノハ其金額ニ應ジ印紙ヲ貼ス  
同上

本証借入金ニテ添証文ニハ舊規則ニハ界紙ヲ用ヒ新証文ニハ金錢約定書ト心得ヘシ

同年四月靜岡縣ニ指令

借地借家証文期限アルモノハ期限中ノ金高ニ依リ期限ナキ者ハ一ケ年又ハ一ケ月金高丈ケノ印紙ヲ貼用スヘシ

同年第五百十五号公布

府縣製造舊証券界紙ハ九年十二月卅一日限廢止ノ事

十年四月熊谷裁判所ニ指令  
印稅規則附錄第十一十二條ノ旨意ハ犯則ノ者ハ罰シ規則ヲ遵奉ス

六十八

ル後ニシテ初メテ受理裁判スルヲ法トス

### 訴訟用罨紙之部

八年第九十六号公布

今般訴訟用罨紙規則相定メ九年二月十五日ヨリ施行ノ事  
同上

官許賣捌所外ニテ販賣スル者其品取上販賣シタル百倍情ヲ知テ買フ者ハ其品取掲ケ買受罨紙代ノ五拾倍ノ過料贖造又ハ情ヲ知テ賣ル者ハ其品取上九十圓以内ノ過料

前ノ犯則人ヲ訴出ル者ハ事實取糺シ過料ノ半高ヲ與フ

九年司法省丁第十五号罨紙取扱心得追加

訟庭上原被告人ノ口供及ヒ裁判所ニ備フル判決文用紙ハ公廨常用ノ界紙トナシ代價ヲ徴セス

府縣製造舊証券界紙ハ九年十二月卅一日限廢止ノ事  
十年四月熊谷裁判所へ指令

印稅規則附錄第十一十二條ノ旨意ハ犯則ノ者ハ罰シ規則ヲ遵奉ス

六十八

ル後ニシテ初メテ受理裁判スルヲ法トス

### 訴訟用罽紙之部

八年第九十六号公布

今般訴訟用罽紙規則相定メ九年二月十五日ヨリ施行ノ事

同上

官許賣捌所外ニテ販賣スル者其品取上販賣シタル百倍情ヲ知テ買  
フ者ハ其品取掲ケ買受罽紙代ノ五拾倍ノ過料贖造又ハ情ヲ知テ賣  
ル者ハ其品取上九十圓以内ノ過料

前ノ犯則人ヲ訴出ル者ハ事實取糺シ過料ノ半高ヲ與フ

九年司法省丁第十五号罽紙取扱心得追加

訟庭上原被告人ノ口供及ヒ裁判所ニ備フル判決文用紙ハ公廳常用  
ノ界紙トナシ代價ヲ徴セス

同上

被告人へ下付スル訴狀ノ與書用紙ハ罽紙第九條五項ノ罽紙タル可

六十九

同上

訴狀却下スルキハ罽紙規則第十條ニ照シ相當ノ罽紙ヲ用ユヘシ但

シ餘白アレハ其餘白ニ理由ヲ記スモ妨ケナシ

同年二月濱松縣へ指令

曲者貧困ニテ罽紙定價ヲ辨納スルノ力ナキハ身代限ノ法ヲ以テ徴  
ス

同上

身代限ノ節罽紙代ハ第一ニ徴ス可シ

同上

財産ノ價徴ス可キ罽紙代價ニ不足スルハ其不足ノ分弁納免スヘキ  
規則無之事(後項東京裁判所  
指令見合ス可シ)

同年同月埼玉裁判所へ指令

控訴ノ上直者トナル者始審裁判所ニテ曲者トシテ取立タル罽紙代

七十

ハ返償ニ及ハス

同年三月白川縣へ指令

官廳又ハ役場ヨリ立替タル評價人監定人等ノ日雇賃等ハ最第一ノ  
先取ノ特權ヲ有ス

同上

過剩ノ罽紙ヲ用ユルハ受理シ不足ノ分ハ訴訟ノ効ナキ者トス

同年三月東京裁判所へ指令

本人ハ勿論相續人迄身代持直シ次第罽紙代完納スヘキ証ヲ裁判所  
ニ納メシム

同年同月兵庫裁判所へ指令

外國人ハ罽紙代ヲ取立ルニ及ハス清國人ハ內國人同様タル可シ

同年同月埼玉裁判所へ指令

控訴ノ上直者トナル者始審裁判所ニテ曲者トシテ取立タル郵便代

七十

ハ返償ニ及ハス

同年三月白川縣へ指令

官廳又ハ役場ヨリ立替タル評價人監定人等ノ日雇賃等ハ最第一ノ先取ノ特權ヲ有ス

同上

過剰ノ郵便ヲ用ユルハ受理シ不足ノ分ハ訴訟ノ効ナキ者トス  
同年三月東京裁判所へ指令

本人ハ勿論相續人迄身代持直シ次第郵便代完納スヘキ証ヲ裁判所ニ納メシム

同年同月兵庫裁判所へ指令

外國人ハ郵便代ヲ取立ルニ及ハス清國人ハ内國人同様タル可シ

同年同月磐前縣へ指令

失踪他行ノ事故ニテ村役場ヨリノ届書及ヒ病氣醫案ハ郵便ノ定規無之事

七十一

同年同月東京裁判所へ指令

主タル訴訟ト附帶ノ訴訟トハ訴狀ヲ區別スルニ及ハス其訴狀ニ掲クル各種中高價ノ種類ニ當ル郵便ヲ用ユ可シ

同年同月大阪府へ指令

身代限點數帳及ヒ家財付立書上等用紙ノ定限ナシ

同年同月新潟裁判所へ指令

曲者控訴スルハ郵便代ハ辨納セシム強テ拒メハ刑事ノ處分ニ及フ

可シ

同年同月鶴岡縣へ指令

要償ノ訴訟ニ非サル時郵便代ヲ拂ハサレハ揭示ニ及ハス直ニ身代限ノ處分ス

同上

三日ヲ過レハ延期ヲ與フル規則ハ無之事

同年同月滋賀縣へ指令

七十二

原告出頭セス被告屢召喚狀ヲ乞フ結局被告曲者トナルハ郵便代ハ呼出ヲ受タル原告ヨリ拂フ

十年六月愛知縣へ指令

證券界紙並訴訟用封紙ニ書損ノ廉ハ改削塗抹シ實印押捺其儘可相用事

### 民刑交渉之部

九年二月滋賀縣へ指令

刑事ニシテ起ル民事身代限ハ通常ノ民事身代限ノ法ニ依テ取扱フヘシ

同年三月愛媛縣へ指令

民事ノ賠償刑事ノ追徴ト並發スルキハ抵當質入ノ者ハ先ツ債主ニ

同上

三日ヲ過レハ延期ヲ與フル規則ハ無之事  
同年同月滋賀縣へ指令

七十一

原告出頭セス被告屢召喚狀ヲ乞フ結局被告曲者トナルモ郵紙代ハ  
呼出ヲ受タル原告ヨリ拂フ

十年六月愛知縣へ指令

證券界紙並訴訟用封紙ニ書損ノ廉ハ改削塗抹シ實印押捺其儘可相  
用事

### 民刑交渉之部

九年二月滋賀縣へ指令

刑事ニ起ル民事身代限ハ通常ノ民事身代限ノ法ニ依テ取扱フヘ  
シ

同年三月愛媛縣へ指令

民事ノ賠償刑事ノ追徴ト並發スルキハ抵當質入ノ者ハ先ツ債主ニ  
償ハシム通常ノ者ナレハ先ツ追徴シ事主ニ給ス

同上

甲乙丙へ二重三重ニ抵當トシテ金借シ償還シ能ハサレハ不應爲輕

七十三

重ニ問ヒ自首スレハ免シ賠償ハ身代限民法ニ依ル

同年四月鶴岡縣へ指令

民事刑事並發スレハ先ツ租稅縣稅盜贓ヲ追シ訴訟入費ヲ追シ負債  
ヲ償ハシメ贖金罰金 ○抵當質入ニ係ルキハ先ツ租稅縣稅訴訟入  
費負債ノ賠償盜贓ノ還給贖金罰金

同年十月滋賀縣へ指令

盜犯所持スル貸金証書真正ノ者ナレハ公賣スレハ借主ニテ書換ヲ

拒ム筋ナキニ付若シ書換ヲ拒メハ相當處分ニ及フヘシ

同上

民事審問中刑事發覺スレハ民事ノ裁判ヲ中止シテ刑事ノ裁判ニ及  
フヘシ

同年十二月島根縣へ指令

入ノ器物ヲ棄毀スル賠償ノ違約ヨリ物主之ヲ訴フル者即チ純粹ノ  
民事訴訟ナリ

七十四

十年五月大審院へ指令

轉償追徴ノ如キ刑事ニ附帶シテ起ル民事ニ付テ不服ナレハ民事  
ノ手續ニ據ラサレハ受理セス

同年同月神奈川縣へ指令

甲贖造ノ手形ヲ渡シ乙ヨリ物品ヲ買取ノ 甲者 後ノ丙手ヨリ發覺ス  
ルヲ以テ丙ヨリ乙ニ係リテ弁償ヲ訴フレハ民事ナリ

同年八月横濱裁判所へ指令

民事裁判言渡ノ後一方ノ者証據物ヲ偽造變造ナリトテ刑事ノ訴ヲ  
ナスモ民事裁判執行ヲ中止セス

十一年司法省丙第九号各檢事へ達

民事審理中及ヒ裁判宣告後該事件ニ付刑事ノ告訴ヲ爲シタル場合

民事刑事並發スレハ先ツ租稅縣稅盜贓ヲ追テ訴訟入費ヲ追シ負債  
ヲ償ハシメ贖金罰金 ○抵當質入ニ係ルキハ先ツ租稅縣稅訴訟入  
費負債ノ賠償盜贓ノ還給贖金罰金

同年十月滋賀縣へ指令

盜犯所持スル貸金証書真正ノ者ナレハ公賣スレハ借主ニテ書換  
拒ム筋ナキニ付若シ書換ヲ拒メハ相當處分ニ及フヘシ

同上

民事審問中刑事發覺スレハ民事ノ裁判ヲ中止シテ刑事ノ裁判ニ及  
フヘシ

同年十二月島根縣へ指令

人ノ器物ヲ棄毀スル賠償ノ違約ヨリ物主之ヲ訴フル者即チ純粹ノ  
民事訴訟ナリ

七十四

十年五月大審院へ指令

轉償追徴ノ如キ刑事ニ附帶シテ起ル民事ニ付テ不服ナレハ民事  
ノ手續ニ據ラサレハ受理セス

同年同月神奈川縣へ指令

甲贖造ノ手形ヲ渡シ乙ヨリ物品ヲ買取ノ 甲者 後ノ丙手ヨリ發覺ス  
ルヲ以テ丙ヨリ乙ニ係リテ弁償ヲ訴フレハ民事ナリ

同年八月橫濱裁判所へ指令

民事裁判言渡ノ後一方ノ者証據物ヲ偽造變造ナリトテ刑事ノ訴ヲ  
ナスル民事裁判執行ヲ中止セス

十一年司法省丙第九号各檢事へ達

民事審理中及ヒ裁判宣告後該事件ニ付刑事ノ告訴ヲ爲シタル場合  
罪証明白ナルキハ民事ノ審理ヲ中止シ又ハ裁判執行ヲ停止スヘキ  
ノ求メヲ爲スヘシ

七十五

明治十二年五月廿日御届  
同 七月出版

編輯人

福岡縣士族

吉富基太良

淡路國州本大工町  
三百三十番地寄留

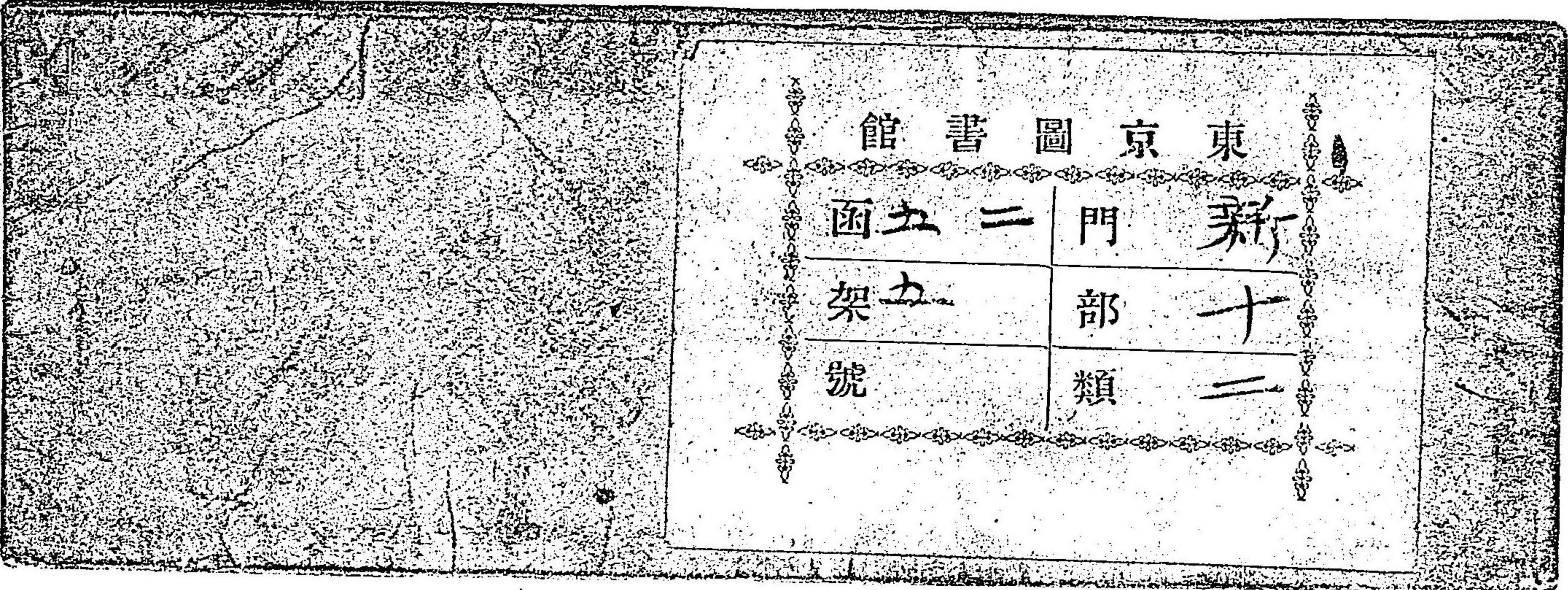
兵庫縣平民

福浦文藏

淡路國州本幸町  
五百五十一番地

出版人

定價二拾五錢



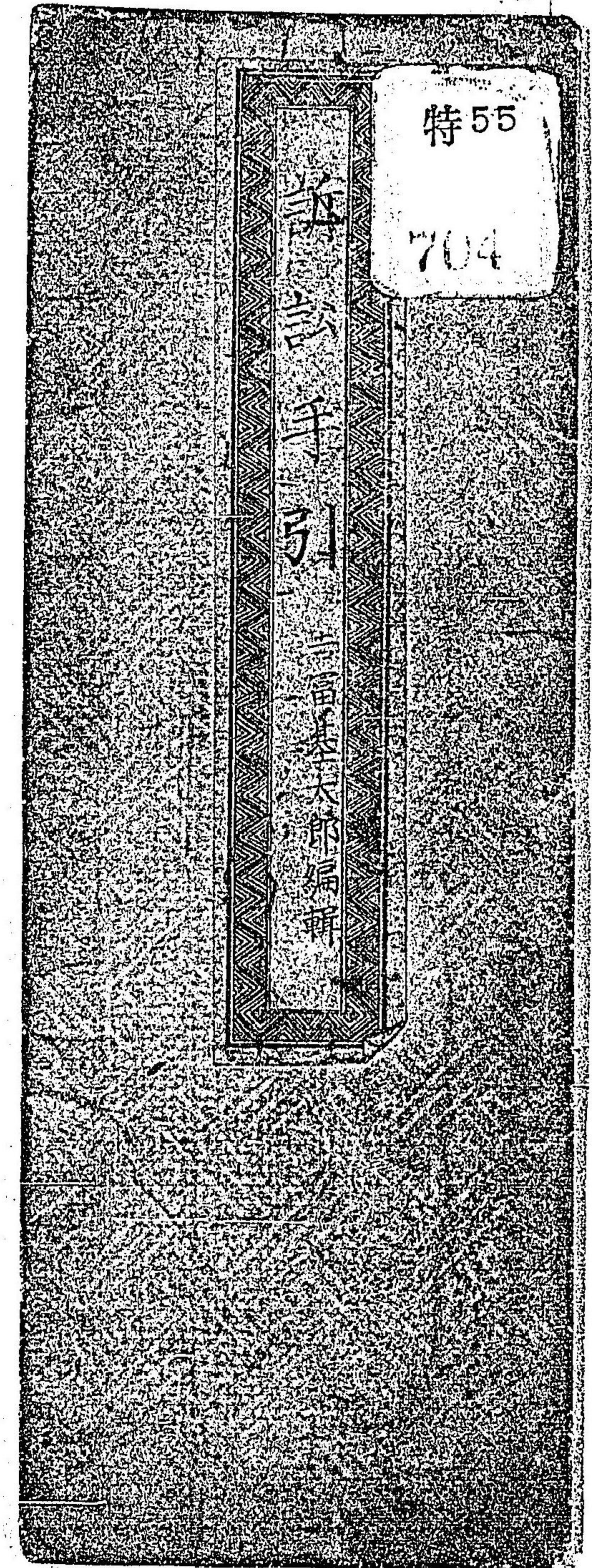
東 京 圖 書 館

函 五 二 門 新

架 五 部 十

號 類 二





特55

704

訴訟手引

吉富基太良編

036823-000-9

特55-704

訴訟手引

吉富 基太良/編

M12

BBS-0289

